

鹿児島西ロータリークラブ 創立40周年記念誌

Kagoshima West Rotary 40th anniversary

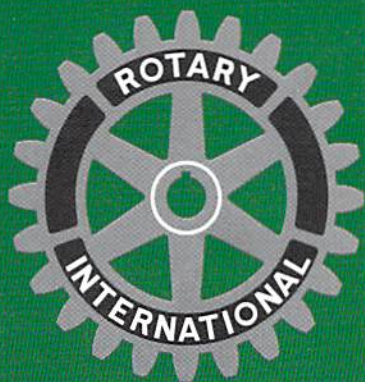
写真集

変わるもの
変わらぬもの

— 8.6水害がもたらした激動の10年 —

鹿児島西ロータリークラブ
創立40周年記念誌

2003



ROTARY SONG ロータリークラブの歌

鹿児島西ロータリークラブの歌

作詞 池田 広 作曲 鎌田 範政

1. 燃える心の桜島
友愛深き城の山
育む「寛容」我がつどい
奉仕の理想打ちたてて
かたく結ばん西クラブ



1. も えーるーこーころの さくらじま ゆうあいふーか き
2. あ つーきーこーころの ともしびに あいじょうにーじ む

2. あつき心のともしびに
愛情にじむ永遠の道
つらぬく「真実」ともどもに
奉仕と親睦調和して
今日も集う西クラブ



しろのやーま はぐくむかーんよう わがつどーい ほ う し の り
とわのみーち つらぬくしーんじつ ともどもーに ほ う し と し



そーう うちたーて て 12. か た く む す ば ん に し ク ラ ブ
ん ほ く うちたーて て



か た く む す ば ん に し ク ラ ブ

我等の生業

作詞 高野 辰之
作曲 岡野 貞一

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
おおロータリアン
我等の集い

それでこそロータリー

作詞・作曲 矢野 一郎(東京RC)

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠いときには 手を振り合おうよ
それでこそ
ローローロータリー

奉仕の理想

作詞 前田 和一郎(元東京RC)
作曲 萩原 英一(元東京RC)

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー

手に手つないで

作詞・作曲 矢野 一郎(東京RC)

手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ心に
おおロータリアン
おおロータリアン

鹿児島西ロータリークラブ40周年記念事業式典



会長挨拶

鹿児島西ロータリークラブ

会長 水流 洋

私ども鹿児島西ロータリークラブは、創立40周年を迎え、これを記念して式典を催すことになりご案内申しあげましたところ、公私とも大変お忙しいなか、ご来賓の方々をはじめ国外、県外の姉妹クラブ、友好クラブの方々、そして友情の輪で結ばれた地区内外の大勢のロータリアンの方々のご参会を賜り、このように盛会に記念式典を開催できますことを会員一同衷心より感謝申しあげる次第でございます。この意義ある年の会長として、皆様にご挨拶申しあげる機会を与えられましたことは、私にとって誠に光栄に思います。

顧みますと、鹿児島西ロータリークラブは、1963年（昭和38年）3月23日に鹿児島ロータリークラブをスポンサークラブとして、チャーターメンバー24名で呱呱の声をあげ誕生して40年目になります。40周年ともなりますと、チャーターメンバーで現在残っておられる会員は小山幸義会員一人だけです。

ここまで幾多の厳しい試練を乗り越えて、今日の基礎を固め発展の軌道を敷かれた歴代会長をはじめ、先輩ロータリアンの皆様のご苦心に感謝するとともに、物故された先輩会員に対し心からのご冥福をお祈りするものでございます。そして関係の皆様との並々ならぬご指導とご協力に思いをはせ、改めて40年の重みを深く噛み締め、これらを無にすることのない様に努力しなければと心を新たにしているところであります。

創立以来40年の間、各年度のRI会長の目標とする奉仕の理想に向かって、充実した活動を続けてまいりましたが、歴代会長をはじめ、会員の皆様が拡大増強に努力され、現在90名の会員を擁するクラブとして発展してまいりました。この間に加治木ロータリークラブをはじめ加世田ロータリークラブ、枕崎ロータリークラブ、そして城西ロータリークラブの誕生をお手伝いしました。ま

た1965年（昭和40年）には明治維新の英雄西郷南洲翁の遺徳が縁で、山形県鶴岡ロータリークラブと兄弟盟約が結ばれお互いに深く交流しております。さらに1989年（平成元年）には、明治維新直前、島津藩からイギリス留学生として派遣された長澤鼎翁の遺徳が縁で、アメリカ・カリフォルニア、サンタローザ・サンライズロータリークラブと姉妹盟約が結ばれ、お互いに青少年交換研修の交流をするなどの友好を深めております。

また、当クラブの奉仕活動の一環として『鹿児島西クラブロータリー賞』を制定しております。これは初代会長櫻美四郎氏が提案され、1965年3月第1回目の贈呈式以来毎年クラブ創立の月に、陽の当たらない場所で社会のために黙々と奉仕に励んでおられる方々を表彰してまいりました。本日も耳の不自由な方々のためにその耳となって働いてくれる聴導犬の育成訓練をされておられ、これら障害者のために献身的な努力をされておられるエンゼル聴導犬協会の石原みち子さんを表彰するためお招き致しております。

このように皆様方の温かいご指導と全面的なご支援のもと、順調に発展しつつながら、今日を迎えることが出来ました。しかし全世界を覆う戦争とテロ、そして飢餓と貧困、この混迷の時代に迎えた40周年を一つの大きな節目として、過去を振り返り伝統を守りながら、激変する時代に対応して如何に『奉仕の理想』を真剣に実現するか、私ども鹿児島西ロータリークラブ会員の大きなテーマであると思います。

これまでに、ご指導、ご鞭撻を賜りました歴代ガバナーの皆様、温かく見守っていただきました各ロータリーの皆様と衷心よりお礼申し上げますとともに、今後ともよろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが本日ご出席の皆様のみならずのご隆盛とご健勝をお祈り申し上げご挨拶といたします。

歓迎の辞



創立40周年記念事業実行委員会
委員長 太原 春雄

本日はご多用の中、私ども鹿児島西ロータリークラブの満40年の誕生日のお祝いにご出席下さった皆様に心から厚くお礼申し上げます。

鹿児島西ロータリークラブは、昭和38年3月23日、鹿児島ロータリークラブをスポンサークラブとして24名で発足しましたが現在は90名に達する大所帯に成長いたしました。

今日に至る過程においてロータリーをこよなく愛し、厳しく奉仕の理想を説いた先人達に思いを馳せ、改めて追悼と感謝の念を捧げる次第であります。

また一方、これまでの成長を支えてくださったスポンサークラブの鹿児島ロータリークラブ並びに歴代ガバナーをはじめ、本日もご列席の皆様には厚く御礼を申し上げます。

本日は、遠くアメリカからサンタローザ・サンライズロータリークラブ、山形からは常々敬愛措くあたわざる鶴岡ロータリークラブの皆様を多数お迎えし、私どもの喜びと感激はひとしおであります。

この2つのクラブはいずれも郷土の大先達、長澤鼎と西郷隆盛を縁として盟約が結ばれた兄弟クラブであります。

改めて卓越した「開拓魂」と、寛容な「敬天愛人」にロータリー精神の原点を見出し、益々の友好発展を願うものであります。

意に満たないおもてなしと限られた時間ではありますが、ごゆっくりお寛ぎいただき、これを機会に友好の輪がますます大きく拡がることを祈念して歓迎の言葉と致します。

1963 ~ 2003
40th anniversary

祝辞



国際ロータリー第2730地区
ガバナー 海江田 卓

ご参集の皆様、本日は誠にありがとうございます。創立40周年に当たり、多くのご来賓やゲストの方々をお迎えして、この様に盛大な記念式典が催されますことを心からお祝い申し上げます。

40周年ということは昭和38年の創立ということであり、前の年に我が国のロータリークラブの数、会員数が共にアメリカ、イギリスに次いで世界第3位に躍進し、次の年に東京オリンピックの開催を控え、各方面に亘って盛り上がりの見られた時期であります。三沢あけみの「島のブルース」や舟木一夫の「高校三年生」などが流行り始めていました。

24名のチャーター・メンバーでスタートして、以来今日まで地道で堅実な歩みを進め、ロータリーの本質を踏まえたアカデミックな活動を続けてきております。西郷南洲翁の遺徳にあやかって鶴岡ロータリークラブと兄弟盟約を結び、アメリカの葡萄王になった長沢鼎の縁でサンライズ・ロータリークラブとも姉妹盟約を結びました。

青少年の健全育成に特に意を用い、地区で初めてのインターアクト・クラブを鶴丸高校に設立し、その後鹿児島高校にも結成しました。両校の在学生に対する「鹿児島西ロータリー奨学金制度」を設け、僻地の小・中学校へ学校図書を贈る「友愛文庫」を設け、県立図書館にも「鹿児島西ロータリー青少年文庫」を寄贈しました。

ロータリーの理念や哲学を学び、新入会員に的確な情報を伝えるために昭和53年8月学習会をスタートさせ、月1回の集まりは今日まで連綿として続き、通算292回を数えるに至りました。また県内のロータリアンに呼びかけて書画のロータリー小品展も始めました。

ところで西郷隆盛は南洲翁と呼ばれ、俳諧の巨匠松

尾芭蕉は芭蕉翁と称されていますが、二人とも亡くなったのは50歳の時であります。隆盛が陸軍大将などの職を辞して鹿児島に帰り、西南の役に追い立てられて行ったのは40代後半のことであり、芭蕉が「奥の細道」の旅に出て最上川を下ったのもその頃でした。今の時代、40代、50代の人に向かって「おきな」とか「おう」という呼び方をしたら怒るよりも前に吹き出してしまおうでしょう。私達の幼い頃までは「人生僅かに50年」と言われ、歌の文句にもなっていました。女性の平均寿命が80歳を超え、男性もそれに追ろうとしている今日では、40代、50代は正に働き盛り、いよいよこれからと言う時代であります。ロータリーの活動は無限の生命を擁し、幾久しく発展し続けて行くものでありますから、鹿児島西ロータリークラブにも「おう」とか「おきな」とか言う呼び方は当てはまりません。いよいよこれからです。

宮崎ロータリークラブの初代会長岩切章太郎氏はクラブが10周年を迎えた折、「クラブも10年を経過すると錆びを生ずる」と警告され、「錆びは取り去って、磨き直さなければならぬ。どうしたら磨き直せるか。それは、疑うことである。そして愛することである。」と言われました。周年行事は単に懐旧の念に耽るためのものではなく、錆びを落として活性化を図る機会でもあると言えましょう。これまでの誇るべき伝統を継承し、更に前進への方途を求めて努力されるよう祈念します。

40周年を迎える今日まで、クラブの発展のために尽力して来られたチャーター・メンバーの方々、歴代の会長、幹事、理事、役員の皆様方のご功績に深甚なる敬意を表すると共に、クラブのますますの隆盛とお集まりの皆様方のご多幸を祈念して祝辞と致します。



CEREMONY of 40th anniversary



サンロイヤルホテル太陽の間
平成15年3月22日(土)
16:30 受付 16:45 開場 17:00 開式
SAA 有村 仁志 伴奏 栄川 美保

- オープニングVTR
変わるもの 変わらぬもの
～八・六水害がもたらした激動の10年～
- 開式太鼓
桜島火の島太鼓
- 開式の辞
実行副委員長 村田 和雄
- 国歌斉唱
- ロータリーソング
ソングリーダー 樋渡 良一
「奉仕の理想」斉唱
- 物故会員追悼
- 来賓紹介
- 会長挨拶
会長 水流 洋
- 来賓祝辞
国際ロータリー第2730地区ガバナー
海江田 卓 様
鹿児島ロータリークラブ会長
中村 博政 様
鶴岡ロータリークラブ会長
嶺岸 禮三 様
サンタローザ・サンライズRC会長
ステイーブ・エイメンド 様
- 祝電披露
幹事 岩切 豊
- 記念事業発表
・薩摩琵琶CD製作
・40周年記念誌写真集
「変わるもの 変わらぬもの」発刊
実行委員長 太原 春雄
- ロータリー賞贈呈
選考経過説明 選考委員長 片平 可也
- 贈呈式
エンゼル聴導犬協会 代表
石原 みち子 様
- ご挨拶
石原 みち子 様
- チャーターメンバー記念品贈呈
小山 幸義 会員
- 閉式の辞
副会長 片平 可也

CEREMONY of 40th anniversary

太原春雄実行委員長指導のもと1年にわたり準備してきたクラブ会長エレクト研修セミナー「PETS」が平成14年3月16日～17日やっと終わりました。ホッと一息入れようとしていた矢先の10日後の例会で、「40周年式典まで、後1年しかないからそろそろ準備にはいろう」と、太原春雄鹿児島西ロータリークラブ創立40周年記念事業実行委員長の言葉に愕然としました。私は実行副委員長でした。考えてみれば創立記念日は、平成15年3月22日です。もう1年を切っています。

4月17日の例会後、第1回日の40周年実行委員会を開催しました。そして委員会組織図を提示して各委員会の委員長に快く承諾してもらいました。

次の週、西クラブの会員にも了承をもらい、毎月1回、委員長、副委員長会を開催することにしました。

12月に入り原則的には毎週例会終了後委員会を開催するように決めました。総務委員会は総括予算、会計、登録委員会は招待状、案内状、受付、名簿作成、報告書、写真、歓迎委員会は懇親会手配、空港送迎、バス手配、宿泊、観光案内、運営委員会は司会、進行表作成、会場設営、記念式典計画、記念誌委員会は記念誌企画、印刷発行など、各委員会はそれぞれ立派に作業を全うしてくれました。

そして、当日を迎えました。空港で鶴岡ロータリークラブの会員を出迎えて、会場に着きました。ところが、会場の設営が最初の計画と全然違っていました。ピック

リして設営責任者に伺ったところ、舞台を設置しようと計画していた部屋が使用中で、本番直前まで使えないため、急遽、計画を変更したとのことでした。思いもかけないことで心配しておりましたが、これが瓢箪から駒が出たと言うのでしょうか、「こんなに素晴らしい設営は見たことがない!」と来場の皆様からお褒めの称賛を頂きかえって良かったと嬉しく思っています。

式典も祝賀会も無事終わりました。参加者総数190名でした。

翌日はサンライズRCのメンバーを国際奉仕委員会の委員が市内および指宿方面に案内し、又鶴岡RCのメンバーは会長、幹事ほか5名の会員が市内、知覧、および指宿方面を案内して、夜6時半より指宿白水館に集合。兄弟クラブの鶴岡RC、サンライズRC、鹿児島西RCの3クラブ合同懇親会を開きました。とても素晴らしい和気あいあいの雰囲気の中で、楽しい一時を過ごしました。

翌朝、サンライズRCのメンバーを国際奉仕委員者が、鶴岡RCのメンバーは岩切幹事と私が空港まで見送りました。空港で別れるときは感極まって握手する手に力が入りました。鶴岡ロータリークラブの皆様もサンライズロータリークラブの皆様も満足して喜んで帰ってくれたものと思います。とても楽しく充実した3日間でした。

記念事業実行委員会

実行副委員長 村田和雄



受付



お迎え



式典風景

2003年3月22日 鹿児島サンロイヤルホテル

「変わるもの変わらぬもの」オープニングビデオ上映



桜島火の島太鼓によるオープニング演奏



オープニング



式典SAA有村仁志会員

村田和雄実行副委員長



開会の辞

ソングリーダー樋渡良一会員

ロータリー
ソング





物故会員
追悼

会長挨拶

水流洋会長



祝辞



国際ロータリー第2730地区海江田卓ガハナー



祝辞



鹿児島ロータリークラブ
折田辰弘幹事

鶴岡RC嶺岸禮三会長



サンタローザ



サンタローザ・サンライズRC
スティーブ・エイメンド会長

祝電披露

岩切豊幹事



式典風景

2003年3月22日 鹿児島サンロイヤルホテル



式典風景

ロータリー賞
贈呈 片平可也
ロータリー賞選考委員長



たった一人になったチャーターメンバー、
小山幸義会員に記念品贈呈



エンゼル聴導犬協会代表石原みち子様へ

記念事業
発表



太原春雄実行委員長

来賓各位



パスト
ガバナー
各位



記念事業について

2つの記念事業を行うことに致しました。

その1つは薩摩琵琶CD製作で、演者は現在鹿児島で代表的な薩摩琵琶弾奏者の一人に挙げられている鳥津義秀氏であります。収録した曲目のなかの「城山」は私どもの思い入れ一入の曲であります。

ご承知の通り、この曲は、勝海舟(1823～1899)作の琵琶歌で西郷隆盛の城山陥落の時の壮烈な模様を歌ったもので、西郷ならびに薩軍への鎮魂歌であり、薩摩琵琶の代表作のひとつに目されているものであります。

本日ご列席の皆様へのお土産と致しましたが、殊に西郷隆盛を絆に結ばれた鶴岡ロータリークラブへの思いを込めた記念の一つであります。

薩摩琵琶のほかに「天吹」の曲が数曲入っておりますが、天吹と申しますのは手作りの30cm足らずの布袋竹の縦笛で、鳥津口新公が琵琶、柴笛と共に推奨されさかんになったと言われております。藩政時代は郷中教育の一環として広く武士の間で伝承され、明治時代には鹿児島市の荒田、加治屋、新屋敷あたりの学舎で伝

授され、生徒のほとんどが天吹や琵琶を奏したといえます。

記念事業のもう1つは記念誌「変わるもの 変わらぬもの」の編纂であります。私ども鹿児島西RCは平成4年に創立30周年を迎え、そのときの記念事業として「鹿児島見たまま」という写真集を編纂しましたが、その翌5年、鹿児島市はいわゆる「8・6水害」と呼ばれる未曾有の大水害に見舞われ市街地の大部分が水没し、多くの市民の家屋財産や貴重な文化遺産であった5大石橋も全て流出してしまいました。

それから10年、鹿児島市は見事に立ち直り、町並みも大きく変貌しました。その変化を記録集として後世に残すべく、当時の同じ場所、同じカメラアングルでの写真を記念誌として編纂することにしました。ご期待いただきたいと思っております。

40周年記念事業実行委員長

太原 春雄



ロータリー賞贈呈者紹介

鹿児島西ロータリークラブの第37回ロータリー賞受賞者の石原みち子様のプロフィールをご紹介します。

石原みち様は、1948年7月30日、鹿児島市でお生まれになり、1969年文教女子短期大学を卒業されました。幼稚園教諭を10年なさり、1997年よりアニマルセラピー、聴導犬育成などのボランティア活動を始められました。1999年アメリカの聴導犬訓練士・認定の資格を取得されました。同年5月29日聴覚障害者の心と体のパートナーとして、聴導犬育成のための「エンゼル聴導犬協会」を設立されました。しかし、協会設立当初は、聴導犬に対する理解もなく、多くの方が「聴導犬」の存在すら知りませんでした。そこで、先ず、聴導犬育成事業よりも啓蒙活動に力を入れられました。そして、やっと昨年の10月に「身体障害者補助犬法」が制立し、今まで認定されていなかった聴導犬、介助犬が盲導犬と同じように国に認定されました。法律が施行されて喜んでおられた矢先、今度は「社会福祉法人」の認定という大きな壁

に直面しておられます。

厚生労働省より社会福祉法人の認定を受けるためには、1億円の資産保有が必要で、認定を受けないと聴導犬の訓練は許されても、認定業務に関しては、他の財団・社団・社会福祉法人に委託しなくてはならないそうです。これからもいろいろな苦難があると思いますが、お体を大事にして、聴導犬育成に頑張ってください。

平成15年3月22日

鹿児島西ロータリークラブ
第37回ロータリー賞推薦委員会委員長
片平 可也



エンゼル聴導犬協会代表 石原みち子様

演者紹介

薩摩琵琶弾奏者

島津義秀

昭和39年生まれ

昭和46年、父親の転勤に伴い、上京。大学卒業まで東京で過ごし、昭和61年、母方の郷里である鹿児島にて薩摩琵琶の師となる川野虎男氏と出会う。昭和63年、単身鹿児島へ移住。株式会社島津興業へ入社。

平成13年、磯仙蔵園企画課長を最後に退職、独立し、現在、地元加治木を中心に神主業の傍ら、薩摩の伝統教育現場の一つである加治木青雲舎を再興し、青少年の育成の一環として、薩摩琵琶、天吹、野太刀自顕流の指導を行っている。

精矛神社宮司ほか町内13社の宮司

鹿児島神宮非常勤権禰宜

島津義弘公奉賛会会長

野太刀自顕流青雲舎道場代表

鹿児島国際大学講師

FM鹿児島番組審議委員

鹿児島県指定無形文化財
保持団体

「薩摩琵琶同好会」

竜洋会所属

天吹同好会所属

鹿児島県文化振興会議審議委員



桜島火の鳥太鼓

会長 五十嵐浩二

マネージャー 有村誠



桜島町住民に火山に負けない不屈の気迫と勇気を与えようと1988年(昭和63年)にグループ結成。日本初の和太鼓奏者 林英哲氏の指導を受け、地元根付いた活動を行なう。赫山の譜、七星、錦江湾波風離子など数々の代表作を持ち、国内に限らず、シンガポール、アメリカアトランタ、など多くの海外公演も経験し、世界中に地球の鼓動を伝える。

田島良一BAND

田島良一(ピアノ)

鹿児島市内のJAZZ CLUB

を中心に演奏活動を続ける

ジャズピアニスト。様々な

ジャンルの演奏家とのコンサートも手掛ける。

オリジナルアルバム「Dream」をリリース中。

増田与八郎(サクソ)

長年鹿児島を拠点に活躍するジャズサクソ奏者。

有村讓治(ベース)

田島ジャズトリオのベーシスト。ギタリストとしても活躍している。



祝 辞

鹿児島ロータリークラブ

会長 中村 博政

鹿児島ロータリークラブを代表して、本日、目出度く創立40周年記念式典を迎えられたことに対し、心からお祝いの言葉を申し上げます。昭和38年といえば、東京オリンピックを翌年に控え、日本経済は高度成長の真っ盛りの中に有り、海外ではソ連の女性飛行士テレシコワさんが地球を48周して帰還された年でありました。戦後の混迷期を乗り越え、国内外ともに明るい未来が見え始めたこの時期に鹿児島西ロータリークラブは誕生致したのであります。そして、爾来40年の年月を経て今日に至った訳ですが、歴代の先達の皆様方の業績を引き継がれ今日まで多くの奉仕活動を実施されておられます。

社会奉仕及び職業奉仕によるロータリー賞やクラブ

独自の鹿児島西ロータリークラブ奨学金制度、そして、毎月1回の学習会を開催され、すでに292回を数えるに至っております。また、ガバナーも2名輩出されており、活発な奉仕活動が続けられて地区において注目されるクラブであります。本年度、記念すべき40周年に海江田ガバナーを送り出されており、誠に素晴らしい魅力あるクラブであり、今後益々のご発展を楽しみに致しております。本式典に際し、水流会長様、岩切幹事様を始め実行委員長及び会員の皆様方の準備に関わる労をねぎらうと共に、ご繁栄とご健勝を祈念申し上げお祝いの挨拶とさせていただきます。本日は誠におめでとうございました。

鶴岡ロータリークラブ

会長 嶺岸 禮三

貴鹿児島西ロータリークラブが創立40周年の輝かしい日を迎えられましたこと、誠にめでたく、心よりお祝いを申し上げます。鹿児島の名門クラブとして、数々の業績を重ねてこられました貴クラブの皆様には深甚なる敬意を表します。

思えば、鶴岡ロータリークラブ創立6年目の斉藤栄作会長のと、貴クラブの土橋英夫会長との間で兄弟クラブ盟約を交わしました。今年で38年目になります。盟約前年の昭和39年は、10月に東海道新幹線が開通し、アジアで初めてのオリンピック、東京オリンピックが開催された歴史的な年でありました。まさに高度経済成長が始まり、日本が活気に満ち満ちていた時代であった訳です。

貴クラブと鶴岡クラブはロータリーの友情によってのみならず、西郷南洲先生の遺徳によって強く結ばれています。

ご承知の通り「戊辰の役」の戦後処理で西郷南洲先生の庄内藩に対する寛大な処理に感激した鶴岡の先人たちが鹿児島を訪れ、文化的、精神的な結びつきを深めていきました。その後、長い月日が経ちましたが鶴岡・鹿児島の人々の交流は絶えることなく続き、南洲先生の遺徳を偲んで、鶴岡に「庄内鹿児島会」、鹿児島に「鹿児島庄内会」が有志で設立されました。毎年相互訪問

をし、親交を深めていました。その「鹿児島庄内会」のメンバーに鹿児島西ロータリークラブの鮫島志芽太先生がおられ、先生は来鶴の都度当クラブの例会に出席して当時のメンバーと親交を深めていったというのがこの発端であります。

昭和39年8月7日、鮫島志芽太氏が当クラブを訪れた際、兄弟クラブ締結の申入れを当クラブが行い、翌昭和40年2月7日、三浦岩治郎さん、今間壯太郎さん、三井徹さんの三名が鹿児島を訪れ盟約の具体化に尽力されております。そして、同年5月9日、当時の斉藤栄作会長、足達鶴岡市長以下数名の会員が鹿児島市を訪れ、「重富荘」に於いて盟約式を行ったと記録にあります。この席には33名の鹿児島西クラブの会員と34名のご家族の方々が出席してくださいました。以後両クラブは共に切磋琢磨し、友情を深めつつ歩んでまいりました。

本年2月24日、水流会長、岩切幹事の両氏が来鶴され、貴クラブ創立40周年記念式典へのお誘いとお案内を頂戴いたしました。一ヵ月後の式典を控え、何かとお忙しい最中でのご来訪に大変恐縮いたしました。と同時に、貴クラブの熱意と我がクラブに寄せてくださる思いに胸を打たれ、大変感激いたしました。庄内地方の2月といえ

祝 辞

ば真冬であります。水流会長、岩切幹事両氏は当然防寒、防雪対策万全で来られました。ところが、来鶴の日は穏やかで、この地方には珍しい、いい日和となりました。お二人のお人柄の賜物ではなかったかという思いがいたします。

一ヵ月後、我々訪問団一行は華やかな貴クラブの40周年記念式典に参列させていただきました。式典は、感慨深いものであり、今でも鮮やかに蘇ります。貴クラブ企画制作によるオープニングビデオ「変わるもの変わらぬもの～8・6水害がもたらした激動の10年～」は、未曾有の水害から逞しく復興する街と人々、そしてそれを支える貴クラブの皆様の活動が見事に映し出されており印象深い

ものでした。また、烏津義秀氏による薩摩琵琶の弾奏は薩摩と西郷先生、近代日本誕生のため犠牲となられた多くの英雄、豪傑達を髣髴させるもので感銘深く拝聴いたしました。太原実行委員長の「このCDを兄弟クラブである鶴岡ロータリークラブに捧げる」との発言には身の震える感動を憶えました。

その後祝賀会や二次会、指宿白水館での懇親会での楽しい語らい、そして会員お一人お一人と親しくお話できましたことは何よりの思い出となりました。

今後とも末永いご厚誼を賜りますようお願い申し上げますとともに貴クラブの益々のご発展と、会員ご家族の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

サンタローザ・サンライズRC
会長スティーブ・エイメンド

水流会長及び鹿児島西ロータリークラブメンバー、そしてご来賓の皆様方にご挨拶を致します。

鹿児島西ロータリークラブの皆様が社会に奉仕を続け、こうして創立40周年を迎えられましたことに対し、サンタローザ・サンライズロータリークラブからも心からお祝い申し上げます。私達夫婦はこの盛大な記念式典にお招き頂いたことを大変光栄に思います。日本、そして鹿児島西ロータリークラブの更なるご発展を祈願しましてお祝いの言葉と致します。

乾 杯

国際ロータリークラブ第2800地区パスト・ガバナー
藤川 享胤

『 Sow The Seeds of Love 』この40年間、地域の人々のために、そして、世界の人々のために慈愛の種を播き続けてくださいました鹿児島西ロータリークラブの皆様のご奉仕、心から敬意と祝意を表すると共に、新たな50年目に向けて、益々ご隆盛になられることを心よりお祈り申し上げます。そして、本日、ロータリーの心を信じてここに集っていただきました皆様の、更なるご健勝とご繁栄を祈念して、声高々に乾杯したいと思います。乾杯!



PARTY of 40th anniversary



サンロイヤルホテル太陽の間
平成15年3月22日(土) 18:15 開宴
司会 若松 喜八郎 伴奏 栄川 美保

●開宴演奏

薩摩琵琶
島津 義秀 様

●開宴挨拶

実行委員長 太原 春雄

●乾 杯

国際ロータリー第2800地区バスト・ガバナー
藤川 享胤 様(鶴岡RC)

～ 開 宴 ～

●祝賀包丁式

庵木 英雄 会員
内村 二郎 会員
大迫 剛 会員

●JAZZ生演奏

田島 良・BAND

●ロータリーソング

ソングリーダー 樋渡 良
「手に手つないで」

●万歳三唱

鹿児島城西ロータリークラブ会長
濱田 紘一 様



薩摩琵琶演奏(島津義秀様)

PARTY of 40th anniversary

開会の辞



太原春雄実行委員長

国際ロータリー第2800地区
バスト・ガバナー
藤川亨胤様(鶴岡RC)

乾杯



祝賀会風景

2003年3月22日 鹿児島サンロイヤルホテル

庵木英雄会員、内村二郎会員、大迫剛会員
による祝賀包丁式

祝賀
包丁式



おめで鯛、ありが鯛、あやかり鯛をお裾分け

田島良一バンドによる演奏

JAZZ
生演奏



歓談風景



祝賀会風景

2003年3月22日 鹿児島サンロイヤルホテル



「手に手つないで」合唱 ロータリーソング

万歳三唱



鹿児島城西ロータリークラブ 濱田紘一会長



エンディング



来賓ご芳名

ガバナー

海江田 卓 様 (鹿児島西)
悦子 様

ガバナー補佐

國科 覺 様 (鹿児島中央)

バスト・ガバナー

藤川 享胤 様 (鶴岡)
岡師 鎮雄 様 (西都)
池田 卓郎 様 (小林)
井上 和人 様 (出水)
井ノ上 繁 様 (鹿屋)
田中 千尋 様 (鹿屋西)
安満 良明 様 (加治木)
光子 様
岡村 俊一 様 (鹿児島)
海江田 順三郎 様 (鹿児島中央)
大津 篤造 様 (鹿児島中央)
佐々木 典綱 様 (鹿児島南)
今林 重夫 様 (指宿)

姉妹クラブ

会長

スティーブ・エイメンド 様 (サンライズ)
キャサリン・エイメンド 様

青少年交換委員長

ロバート・スコット 様 (サンライズ)
キャサリン・スコット 様

会長 嶺岸 禮三 様 (鶴岡)

幹事 加藤 吉郎 様 (鶴岡)
和江 様

会員 塚原 初男 様 (鶴岡)

菅原 保 様 (鶴岡)

佐藤 友行 様 (鶴岡)

佐藤 攸子 様 (鶴岡)

加藤 恒介 様 (鶴岡)

節子 様

斉藤 昭 様 (鶴岡)

和 様

御橋 義諦 様 (鶴岡)

碓氷 節雄 様 (鶴岡)

秋野 昭三 様 (鶴岡)

順子 様

阿蘇 司朗 様 (鶴岡)

市内RC

中村 博政 様 (鹿児島・会長)

折田 辰弘 様 (鹿児島・幹事)

牧田 紘一 様 (鹿児島南・会長)

福岡 一信 様 (鹿児島南・副会長)

川崎 芳明 様 (鹿児島東南・副会長)

塩津 洋一 様 (鹿児島東南・幹事)

榑 茂吉 様 (鹿児島中央・副会長)

江夏 幸雄 様 (鹿児島西南・会長)

南 普弍 様 (鹿児島西南・幹事)

有村 茂樹 様 (鹿児島東・会長)

森元 眞寛 様 (鹿児島東・幹事)

田島 徹 様 (鹿児島北・副会長)

梅野 一郎 様 (鹿児島北・幹事)

川上 鐵太郎 様 (鹿児島城西・名誉会員)

濱田 紘一 様 (鹿児島城西・会長)

迫田 修 様 (鹿児島城西・幹事)

畠田 実 様 (鹿児島城西・副会長)

小牧 二郎 様 (鹿児島城西)
 小園 弘巳 様 (鹿児島城西)
 三木 靖 様 (鹿児島城西・ガバナー・ノミネー)
 西村 善昭 様 (鹿児島城西)
 瀬川 英憲 様 (鹿児島城西)
 内倉 厚弘 様 (鹿児島城西)
 寺田 洋一 様 (鹿児島城西)
 野田 健太郎 様 (鹿児島城西)
 楠元 康弘 様 (鹿児島城西)
 高良 次男 様 (鹿児島サザンウインド・会長)
 新井 秀一郎 様 (鹿児島サザンウインド・幹事)
 赤塚 晴彦 様 (鹿児島サザンウインド)
 福石 堅郎 様 (鹿児島サザンウインド)
 池田 耕夫 様 (鹿児島サザンウインド)
 岩田 政大 様 (鹿児島サザンウインド)
 川原 篤雄 様 (鹿児島サザンウインド)
 小針 宜夫 様 (鹿児島サザンウインド)
 平 恵子 様 (鹿児島サザンウインド)
 松田 泉 様 (鹿児島サザンウインド)
 久保 淳一 様 (鹿児島サザンウインド)
 下前 建二 様 (鹿児島サザンウインド)
 石田 省三 様 (鹿児島サザンウインド)

親・子クラブ

岩澤 浩二 様 (加治木・会長)
 厚地 健二 様 (加治木・幹事)
 烏津 義秀 様 (加治木・薩摩琵琶演奏)
 内田 薫 様 (加治木)
 山崎 喜雄 様 (加治木)
 水口 武義 様 (加治木)
 神田 敏紀 様 (加治木)
 西 清文 様 (加治木)

椎原 久昭 様 (枕崎・会長)
 俵積田 輝秋 様 (枕崎・幹事)
 久保 耕一 様 (枕崎)
 竹迫 昭 様 (枕崎)
 田野尻 秀明 様 (枕崎)
 町頭 与志郎 様 (枕崎)
 上木原 貢 様 (枕崎)
 大茂 健二郎 様 (枕崎)
 中野 明朗 様 (加世田・会長)
 春成 文夫 様 (加世田・幹事)

特別参加者

インターアクトクラブ

内西 孝文 様 (鹿児島高校指導教諭)
 佐藤 憲一 様 (鹿児島高校指導教諭)

プロバスクラブ

門田 明 様 (会長・県短大名譽教授
サンタローザ友好協会会長)
 木脇 栄 様 (元市民文化ホール館長)
 新盛 辰雄 様 (元衆議院議員)
 大庭 昇 様 (鹿児島大学名譽教授)
 小村 正範 様 (副会長・鹿児島トヨタ自動車(株)
相談役)

ローターアクトクラブ

幸本 直之 様 (会長)
 土元 祐一郎 様 (幹事)

高吉 久美 様
 西 ゆかり 様
 霜出 英樹 様

鹿児島西RC元会員

谷口 良康 様 (鹿児島市立病院・院長)

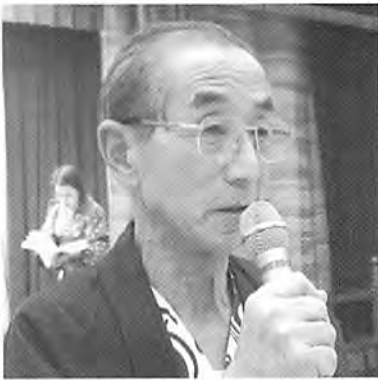
ロータリー賞受賞

石原 みち子 様 (エンゼル聴導犬協会代表)

鶴岡ロータリークラブ& サンタローザ サンライズロータリークラブ懇親会

2003年3月23日 指宿白水館





リークラブ
：懇親会 御・行様迎



鶴岡ロータリークラブ& サンタローザ サンライズロータリークラブ懇親会

2003年3月23日 指宿白水館



鹿児島西ロータリークラブ40周年記念座談会

それぞれの年代を 振り返って

出席者:〈31代会長〉岩男秀彦・〈34代会長〉玉川哲生・〈35代会長〉高山義則・〈36代会長〉海江田卓
・〈37代会長〉太原春雄・〈39代会長〉竹下威・〈40代会長〉水流洋・〈31代幹事〉佐伯壽郎・〈32代幹事〉江夏洋
・〈37代幹事〉村田和雄・〈38代幹事〉川平建次郎・〈39代幹事〉須田正己・〈40代幹事〉岩切豊
記念誌委員会委員長:天本美信 **司会:**深尾兼好

天本委員長

皆さんこんばんは。今からちょうど10年前、我が鹿児島西ロータリークラブは創立30周年を迎えました。その時記念事業として、記念誌と鹿児島の風景写真集「鹿児島見たまま」を発刊したところ、この写真集が大変好評でした。今回の40周年では、記念事業として記念誌と写真集を1つにしたものを作ろうということになりました。歴代の会長、幹事の皆様に楽しいエピソード等をお話しいただき、記念誌に載せてはどうかという案が出まして、今夜のこの座談会を企画しました。この席では、堅苦しい表情ではなくて、飲みながら、楽しいニコニコした表情を写真に収めたいと思っています。できましたら、少し飲んで、ほろ酔いになったぐらいから進行したほうがおもしろいのではないかなと思っています。みなさんどうぞよろしくをお願いします。

～拍手～

太原

皆さんこんばんは。40周年の記念誌に座談会の一部を載せてみようという非常に素晴らしい企画が挙がりまして、今夜の会になった訳です。私も事務局に10年間のトピックスがあるかなと探させてみましたが、今日に至りましても「先生何もありませんよ」といったような具合でして…(笑)。考えてみればそうかなといった感じもしますが、ちょうど良い機会ですので、それぞれの年代を振り返って、良いこと悪いことすべてしゃべっていただいですね(笑)、今後のクラブ運営の参考にしたいと、そう思っておりますので皆様どうぞよろしくをお願いします。

～拍手～



司会

それでは早速、乾杯から始めたいと思います。乾杯の音頭は水流会長に。

水流会長

それでは、ご指名いただきましたので、乾杯をさせていただきます。一回しかないこの40周年を成功させるためにも、そして今日は十年間の色々なお話を、過去を振り返りながらお話して頂いて、さらなる発展を祈念したいと思います。それでは、乾杯!

～乾杯～

～拍手～

司会

堅い話は別枠で設けますので、ここではできれば「こんな時にこういうことがあった、面白いことがあった」というような楽しくて、砕けた話をして頂けたらと思っています。

司会

それではまず、平成5～6年(1993～94年)会長の岩男先輩をお願いします。

岩男

私が会長を引き継ぐ前の年(1992～93年)が、ちょうど鹿児島西ロータリークラブ創立30周年記念の年でした。その年の会長、岩元さんから次の会長をやれと言われましたので、「幹事はどなたか決まっていますか?」と聞くと「佐伯さんだ」と言われました。やはり幹事が誰であるかということが会長の存在を問われるところでね(笑)、佐伯さんでしたので、「それじゃあやります! 31代日会長やります! やらせて頂きます!」と引継ぎ受けたんですよ。私の会長の年は、8・6水害という社会



31代
会長
岩男 秀彦

平成5年～14年のおもな出来事

- 平成5年4月●長崎県雲仙普賢岳噴火
- 平成5年7月●北海道西南沖地震(奥尻島中心に死者多数)
 - 7月●今給黎さん単独無寄港世界一周
 - 8月●鹿児島市中心に記録的な集中豪雨(8・6豪雨災害)
 - 12月●屋久島が日本で初めて世界遺産登録
- 平成6年2月●ドラゴン航空香港線廃止
 - 3月●レトロ観光バス「カゴシマシティビュー」登場
 - 11月●マイアミ通り命名式
- 平成7年1月●阪神淡路大震災
 - 3月●地下鉄サリン事件発生
- 平成7年4月●鹿児島市中核市施行
 - 7月●PL法施行
 - 7月●九州縦貫自動車道全線開通
- 平成8年1月●百武すい星発見
 - 7月●O-157食中毒発生
 - 10月●新県庁舎が完成
 - 12月●ペルーの首都リマで日本人大使公邸人質事件
 - 金融証券危機
 - 4月●世界帆船まつり開催
- 平成9年5月●かごしま水族館オープン
 - 7月●香港が中国に返還
 - 11月●北海道拓殖銀行が経営破たん
 - 11月●山一證券自主廃業決定
- 平成10年2月●第18回冬季オリンピック長野大会開催
 - 3月●南九州西回り自動車道鹿児島西～伊集院間開通
 - 4月●第1回渋谷・鹿児島おほら祭り開催
 - 6月●金融監督庁が発足
- 平成11年1月●欧州連合(EU)単一通貨ユーロ誕生
 - 1月●上野原遺跡国指定文化財(国跡)に
 - 3月●宮崎県で牛10頭が口蹄疫感染の疑い
 - 4月●改正男女雇用機会均等法施行
- 平成12年2月●大阪府知事選挙で女性初の太田房江知事誕生
 - 3月●北海道の有珠山が23年ぶりに噴火
 - 携帯電話・PHSの加入台数が固定電話の加入回線数を逆転
- 平成13年2月●宮崎シーガイア倒産
 - 9月●国内初の牛海綿状脳症(BSE)確認
 - ニューヨーク世界貿易センタービル同時多発テロ
 - 10月●野依良治 ノーベル化学賞受賞
 - 12月●鹿児島奄美大島沖で不審船沈没
- 平成14年
 - 5月～6月●日本・韓国共同主催のサッカーワールドカップ開催
 - 10月●北朝鮮拉致被害者5人が一時帰国
 - 12月●小柴昌俊 ノーベル物理学賞受賞
 - 田中耕一 ノーベル化学賞受賞

的に非常に大きな事件がありました。西ロータリークラブのメンバーも被害を受けた方がたくさんいらっしゃいました。甲突川沿いに工場を経営する田中さんも被害を受けた一人ですが、お話しを伺う機会がありまして、当時のことを話して頂きました。「ロータリーの方々、メーカーの方々、地域の人々の助けがあったからこそ、今僕はこうしてられる。本当にありがとう!」と感謝の言葉を頂きまして、ロータリーにいて良かったと胸が熱くなったことを覚えています。その年は、姉妹都市盟約を結んでいる鶴岡ロータリークラブからもお見舞いを頂きました。こんな具合で、何かと大変な一年でしたが、その分ロータリーの愛の絆は深まったのではないかと思います。

玉川

田中さんは大変でしたよね、ほんと。
メモからなにから一切流れたとって「何か分かるものがあつたら下さい」って悲壮でしたからね…。



34代
会長
玉川
哲生

高山

田中さんの工場は、床下から屋上のポンプまで全部ダメになりましたからね。榎田さん宅も廊下の辺りまで水で浸かってね。すごかったですよねー。あの時の雨は…。

川平

よく降りましたよね。
これでもかっていうくらい。記録的集中豪雨ですよ、あれは。

村田

私の会社もひどかったんですよ。車が11台水没しましたから。浸かったのは全部だめになりました。座席にもエンジンにも水が入ってしまっ…。

岩切

車はエンジンに水が入ったら、もうだめですもんね。
11台もですか。

村田

運転席のシートの上にまで泥がいっぱい積もってましたよ。
ホントすごかったよなあー。やはりあの頃のことは何年経っても印象深く残ってるよね。みんなそうなんじゃないかなー。

須田

二宮橋通りの電気屋なんかチンガラだったそうですよ。

海江田

そうでしたよね。もう悲惨でしたよ…。でもその一角はみんながそうでしたから、被害意識はあまりなかったですよ。だから、これだけの被害を乗り越えられたんでしょうね。

司会

それでは、続いて平成6～7年(1994～95年)の幹事をされた江夏さんよろしくお願ひします。前年に比べると、わりと落ち着いた年ですね。

江夏

記憶に残っているのはですねー、三角さんをガバナーにという話があって、そのときは「さあ、大変だ」と思っていたんですが、三角さんが健康を害されて、南クラブのほうに話が行ったんですよ。僕と当時会長の吉留さんがですね、「よかったー」と胸をなでおろしたことを覚えています(笑)。



32代
幹事
江夏
洋

玉川

高山さん、確かその時はクラブ内でも江夏さんが幹事に
なられるという前評判はありませんでしたよね？

高山

全くなかったよね。だから、江夏さんが幹事と知った時
はビックリしましたよ。

司会

8・6水害の立ち直り状況はどうだったんですか？一年間
くらいは天文館もかなり厳しかったと思うんです。天文
館の地下は、ほとんどお客さんがいなくなったと聞いて
いますが…。

江夏

その時はですね、今まで地下にあったお店が、ほとんど
二階に(笑)。こういうことは詳しい高山さんに聞いたほ
うがいいですよ(笑)。そうでしょ？高山さん！

高山

全然詳しくないですよ(笑)。聞いた話ですがそうだっ
たみたいですよ(笑)。昔からあった地下の飲み屋はほ
とんど移転してしまいましたよね。

佐伯

水害の被害にあった店は、泥で汚れてしまって、ねずみ
は出るわ、ゴキブリは出るわで、もう観光的にもうけない
から、閉店せざるをえない店が多かったみたいです。や
はり経済的には一番厳しい年だったはずですよ。天文
館が完全に崩壊するとも言われていましたし…。



31代 幹事
佐伯 壽郎

玉川

私が行くBARも地下にあったんですが、その店にはグ
ランドピアノが入ってたんですよ。いい感じのお店だっ
たんですけど、8・6水害で完全にやられましたよ。それっき
りもう経営は無理だったみたいです。



35代 会長
高山 義則

高山

学習会の会場が、昔はワシントンホテルの1階だった
んですけど、2階に変わったんですよ。それも8・6水害の影
響じゃなかったかな？



39代 幹事
須田 正己

須田

ただですね、天文館で聞いてみると、皆が苦しかったの
でお客さんが非常に協力的だったそうです。「どうした
どうした？大丈夫か？」なんていいながら、助けてくれた
みたいですね。その時、はじめて「天文館ってお客さん
があつてこそだなっ」て思った人がたくさんいますよ。そ
れまでは、「おまえらは高い金とって！」っていわれてたの
が、そのときはカウンターにボンと5000円置いて帰って
いったという人も多かったみたいです。それで救われ
たっていう話を聞きました。だってですね、あの頃街を歩

いていると、バス・電車がわざわざ止まって乗せてくれましたからね。鹿児島の人情を見直しましたよ。

司会

次は、平成7～8年(1995～96年)会長の玉川さんです。お願いします。

玉川

私は平成4～5年(1992～93年)に幹事をしていたことがあったんですが、本当に思い出すのはガバナーのことです。当時鹿児島ロータリークラブからガバナーとして選出されていた本坊さんが、我々のクラブに来られた時に非常に簡単な口調で「32代の地区ガバナーをよろしく」と云われ、当時の岩元会長がそれを心易く引き受けられたことでした。あっけにと取られてましてね。僕は当時幹事でしたから文句は言えませんでしたけど(笑)、大丈夫かなと思ったものでした。会長指名を頂いた時は、必死に幹事候補を探しました。何人かの方々をお願いして結局のところ森永さんに受けてもらったんです。32代目の会長の吉留さんには「あなたの年度は、会長幹事会の当番幹事もありません。クラブの周年行事もありません。その他なんにもありませんからひとつよろしく」と云って会長を引き受けてもらったものですから。そしたら思いもしなかったガバナー年度がまわってきてね。結果的にだましようちですよ(笑)。正直、うまく押し付けられたという感覚があったのでしょうかね(笑)。私の年に力を注いだことは、やはり会員増強でした。何人か増やすことが出来まして、91名になりましたね。

川平

リストを見ますと、玉川さんが幹事をされた平成4～5年(1992～93年)が99名ですね。これは過去40年間で見て一番会員数が多いですよ。会長をされた平成7～8年(1995～96年)は、先程おっしゃったように91名ですね。

太原

そうだけ?玉川会長年度が一番会員は多かった気がするけどな…。

ということは瞬間風速だったんだね(笑)。

でも、会員はそんな簡単に増員できるものじゃない。それを100名近くまで増やしたということは素晴らしいことだよな。

司会

では、次は平成8～9年(1996～97年)会長の高山さんです。よろしくお願いします。

この年はO-157が発生した年ですよ。あと、ペルーのリマで大使館が占拠されたり、消費税が3%から5%に上がり、あと県庁の庁舎が出来たんじゃなかったですかね。

高山

ということは、社会的にも色んな変化があったんですね。私はちょうど鹿児島西ロータリークラブでは35代目の会長でした。それまで私は、会長というのは幹事をした人しか出来ないものだと思っていたんですが、33代目幹事の中川さんが会長になれると言うんですよ。私は「幹事もしていないがね」と言うと、中川さんが「年を考えてみなさい。幹事なんかしてる暇はないよ、早く会長をせんね。後が待っているんだ。」と、こう言うんですよ。それで、会長を引き受けたんです。そのときは、私も何も知りませんから、やはりさっき岩男さんがおっしゃったように幹事ですよね。幹事にいい人と言うのが、私の条件でした。榎田さんとは知り合いでしたし、やはり榎田さんじゃなければ出来ないと思ってお願いをしました。本人に言ったら、「イヤ」といいましたから、これは何が何でも頼まないかんなど(笑)。そこで、その年のRIのテーマ「SHOW ROTARY CARE」を掲げ、「ロータリーの心を社会にしめそうじゃないか!難しいことじゃない。テーマ通りの活動をすればいいんだよ。」と必死でお願いしまして、榎田さんに幹事を引き受けて頂いたわけです。私の年に行ったことは、まずプロバスクラブを発足させました。このクラブは鹿児島地区では三番目の発足で、12名の会員で始めました。これがとても内容のあるメンバーでして、2730地区では非常にレベルの高いプロバスクラブではないかと思えます。これも榎田さんに一番走り回って頂きました。その他に、プロバスクラブの例会場を固定しました。それまでは、色々な所を例会の会場にしていた探すのにひと苦労でしたが、年寄りが集まるのだから、交通の便の良い所、明るい所、すぐわかる所の、この三つの条件を満たす場所にしようということで、色々探しまわった結果、3つの条件を満たしていること、千円以内でお手頃だったことから、「チャイナテーブル」に決めました。あとですね、私たちの年度の会員平均年齢を見ますと57.4歳なんですよ。今はどれくらいですか?

水流

60.4歳です。57.4歳というのはかなり若かったんですね。

高山

そうなんですよ。その年は非常に若いクラブだったと思います。岩元さんに私は、「ロータリーの将来を担っていくのは若い世代です。私の年度は若い方々が多いんです。そこに焦点を合わせてください。」と言ったことがあります。岩元さんは、「いいぞ、好きなようにしないか」と仰ってですね、何を勘違いされたのかそれを皮切りに飲み方ばかりはずんで(笑)、もう毎週ですよ。指定の場所を天文館に設けてね。僕がいったことのないキャバレーも教えていただきました(笑)。これはオフレコにしてもらわないといけないな(笑)。というわけで、いろんなバカしましたが非常にワイワイした愉快なクラブだったと思います。それからもう一つ頑張ったことがあります。私たちの西クラブの週報です。ガバナー訪問があったときに岡師ガバナーから、「西クラブの週報は、会長のメッセージがない。これはいけません。」と指摘をされました。私の年までの35年間、西クラブの週報に会長のメッセージの欄は無かったです。翌週からさっそく会長あいさつの欄を設けて、書いていったんですがねー、これが本当に大変でした。実際、例会をした1週間あとにメッセージを書くわけです。例会の時書けば、心が充実して書けるんでしょうが、1週間しますともう、熱意もなくなりましてやっぱり屁みたいな文になるわけです(笑)。これには泣かされましたよね。ただそれ以来、ずっと形を変えずに慣例として今まで継続されているということが嬉しいですよ。これからも決して止めることなく続けていってほしいと思います。

司会

では、海江田先生が会長をされた、平成10～11年(1998～99年)です。よろしくお祈りします。

海江田

私の年は、毎年高校でやっている青少年の職業選択フォーラムがありました。これは高山先生が青少年奉仕委員長の時を始められたことで、西ロータリークラブの誇る素晴らしい企画だと思います。今も地区のかなりのクラブが真似をして、青少年のためにということで行っております。

それぞれ成果を挙げておりますが、一番初めに始めたのが我々のクラブです。このリーダー役をされたのが高

山さんです。これはやはり特筆すべき所だと思います。

高山

もう10回以上やっているんですよ。まだ僕がこのクラブに入って間もない頃でしたよね。そのころはクラブに元気がありまして、「アクション、アクション」といって活動しないクラブは無いのと一緒だと、一生懸命になってやってきましたよね。



海江田 卓
36代 会長

海江田

私の年度が鶴岡の40周年でしたよね。ですから、わたしの年度には是非とも鶴岡訪問を成功させたいという思いがありました。もうひとつの姉妹クラブであるアメリカのほうで最初の意気込みは良かったんですけども、後がなかなか続かないで、段々熱を失っていった感じがありましたからね。少なくとも、アメリカまではなかなか行けないけれども、国内の鶴岡だけはしっかり盟約を結んだ最初の気持ちを忘れずにいなきゃならない。そのためには、この40周年という機会に我々が訪問して、お互いにその気持ちを通わせあおう、ということで会長就任の最初の挨拶からそのことばかり言いました。おかげさまで、皆様方に理解していただき、たくさんの方に参加して頂いて大成功だったと思っております。それだけに今回の我々西クラブの40周年に、鶴岡の方をお招きした時は、精一杯のことでお返ししなければならないと思います。これを機会に、鶴岡とも、アメリカのほうとも、1同盟約を結んだ以上はしっかりとその主旨を長く伝えていかなければならないと考えています。台湾や韓国と盟約を結んでいらっしゃるクラブは3年おきに契約を更新されるんです。3年おきに行き来するわけですが、1回行ったら今度は向こうから来るといった感じで、3年おきというのはほと

んど暇がないんですね。それだけにずっと続いているんです。その点、我々は少し間延びがしてはいたのではないかなと思ひまして、これからはこの辺をきちんとしていかなければならないと思ひます。

司会

では、次にいきたいと思ひます。平成11～12年(1999～2000年)は太原先生の会長の年ですね。お願いします。



太原 春雄
37代 会長

太原

私が会長になりましたときまず初めに言ったことは、「市内でロータリークラブと言えは、まず、鹿児島クラブというじゃないか!いつまでもこのままじゃいけない。次が西クラブと言われるのを打破しよう。まず、クラブ会員数100名を突破しよう!」と言ひまして、非常に新入会員を増やす活動をした年でしたね。瞬間風速102名ぐらいいきましたかね。何が何でも鹿児島クラブを追い抜こうと必死でやっただんですが、なかなかでした。それが一番印象深いですね。「クラブ活動の内容を世間のクラブと比べて見ても、西クラブは1番とっていいほど素晴らしい活動をしているはずだよ。だから人数でもトップになろうよ!」って、スローガンを掲げてやっただんですがね、瞬間風速に終わってしまいました。そんなとこですか。

司会

マスコミ懇談会で太原先生は、集まった報道各社の編集責任者相手に「おまえら何しとんだ!」と怒鳴られましたよね。あんな懇談会初めてみました(笑)。

太原

何でだったかなあ?

村田

アレは青少年の問題についてでした。あのジベタリアンの…。

太原

ああー!あれね。

「今のマスコミはなっちよらん!ジベタリアンをなくさなきゃならん!マスコミがもっと厳しく意見しなきゃ!そんな怠慢な態度だからダメなんだよ!」と。それで、僕とやりあひましてね(笑)。それ以来その局長と顔を合わせるというやーな感じでねえー(笑)。あの頃はまだそんな元気があったんだな。今では考えられんなー(笑)。



村田 和雄
37代 幹事

村田

地区協議会の分科会に私と太原先生が出席した時がありました。テーマは「会員増強」でした。その時、不景気でロータリアンが減っているという話がでました。その頃のアメリカは景気絶好調でしたがアメリカもやはりロータリアンが減っていたんですよ。その時もですね、太原先生は、「これは、景気がどうこうでロータリアンが減るもんじゃないと言うこと示していると思ひませんか?クラブ内の雰囲気だと思ひんです。」と、はっきり唖嘲を切られました。確かにそうなんです。我々は何かとすぐ不景気のせいにしてしまひがちですが、そうじゃないんだよと、その時太原先生から教わりました。そういうこともあって、私たちの年はかなり会員増強に力を注いだんです。

玉川

クラブの人数は何名ぐらひが1番ベストなんですかねえ?

竹下

永遠のテーマだよそれは…。

太原

例会場をお借りしている山形屋さんは、「西クラブはものすごく出席がいいなあ。他のクラブなんかは50名出るか出ないかだもんなあ。」とおっしゃってましたけどね。確かに、会員数が増えても出席率が悪ければ意味がないよね。

佐伯

やはり予算的にみても100名ぐらいが一番いいんじゃないですか。



川平 38代幹事
建次郎

川平

どこのクラブを見ても、幹事は大変だといひます。ところが、西クラブは事務局がしっかりしているから他のクラブと比べるとやりやすいと思うんです。だから、事務局をしっかりした体制にするほどの会費が必要だということなんですよね。そういう意味で会員数は90~100人ぐらいがちょうど良いのではないですかね。我々のクラブの会員数がベストでしょうね。

高山

確かに、うちのクラブは事務局がしっかりしていますよね。どこのクラブも事務の女の子にやられています。もちろん私達のクラブも以前はそうでした。でも今は、ピシャーとうまくやっていますよ。最高だよ。その点では、他のクラブより恵まれているよね。全く不便がないよ。

司会

さて、次は平成12~13年(2000~2001年)幹事の川平先生になりますね。よろしくお願ひします。

川平

ある日突然、山元会長から電話がありまして、「あなたが

幹事をするなら会長を引きうけるんだけど」と…(笑)。先輩の榎田さんに相談しましたら、「声がかかった時がいい時よ!」と言われましたので、「だったら断わらんでせんならよ」と(笑)。そんな感じで引き受けました。山元会長が心得ていらっしやったのは、例会において、会長挨拶を確実に準備して発表するということでした。山元会長は体調がすぐれないため、必要以上の会合には出られないということが最初の段階で分かっておりましたので、幹事としては気をつかいました。鹿兒島西ロータリークラブ創立40周年記念事業のことや、次の会長の選出などで頭がパンクしそうになりまして、投げ出したくなるような心境でしたけれども、先輩方にアドバイスを頂きながら何とかやって来れました。おかげさまで40周年の会長候補として小山さん、ガバナーは海江田先生に引き受けて頂きました。私達の年度は、プロバスクラブが3周年を迎えた年でした。メンバーも少しづつ増えプロバスクラブも活気づきました。あと、太原会長の年(1999~2000年)に鶴岡市と鹿兒島市が兄弟都市盟約30周年記念式典を持ちましたが、西クラブからも数名が出席しました。式典の途中で、2次会をしようという話がでまして、富塚陽一様(鶴岡市長)、赤崎義則様(鹿兒島市長)、酒井忠明様(旧庄内藩主)、島津修久様(旧島津藩主)、御橋義諦様(鶴岡RC)、酒井忠久様(致道博物館館長)、そして、西クラブからは、太原春雄、村田和雄、山元正明、海江田卓、池田勝一郎とそうそうたるメンバーで2次会をしまして、先般の鶴岡訪問の際に受けたご厚情に対してお返しを十分することができました。次に、これは余談かもしれませんが、次の年度の会長、幹事を選出していた時に、名簿を見ていてちょっと気になりまして調べてみました。最低年齢で会長になられた方は、57歳で三角さんでした。そして最高年齢で会長になられた方は、太原先生、山元会長の76歳。幹事でいひますと村田さんの62歳、私、川平で60歳の順です。幹事の一番若い方で31歳。大体の平均を言ひますと、幹事が51歳、会長が60歳ちょっと超したぐらいと面白い結果がでました。近頃どちらかという和高齢者に会長を引きうけて頂いているようですね。若返らなきゃならないという感じですね。(笑)以上です。

江夏

えらい予習してきましたねえー(笑)。
僕も準備してくればよかったかなー(笑)。

司会

ありがとうございました。では次の会長は、竹下さんですね。平成13～14年（2001～2002年）です。



竹下 威
39代 会長

竹下

私の年は、西暦で言うと新世紀ということでしたが、あんまり細かいことは憶えてないですねえ（笑）。私は副会長から会長になったんですが、幹事をどなたにするかということですいぶん困りました。最終的には須田さんに引きうけて頂きました。色々なことがありましたが、私の

年度に鹿児島中央ロータリークラブがちょうど25周年でした。中央クラブでも姉妹盟約が取りあげられ、那覇西クラブと新しく締結されるということでした。その他、鹿児島東ロータリークラブも15周年で、岐阜サンリバーと盟約更新をされました。その時なんですけど、ぶどうの件で盟約を結んだサンライズロータリークラブとの行き来が途絶え始め、サンタローザ友好協会にお金を出すのはどうだろうかという批判の声はずいぶん出ました。私自身も解消した方がいいのではないかと思いましたが、40周年記念に、アメリカから来鹿されると言うことでまた盛り上がりまして、事無きを得ました。そういう意味では、他のクラブを見てみますと、3～5年もしくは10年に一度、盟約更新をやったほうがいいのではないかと考えさせられまして、とても勉強になりました。ガバナーをどうするかということでスタモンダしてP.Gの佐々木さんにお詫びに行ったこともありましたが（笑）、楽しく、明るく、和やかな雰囲気クラブでした。

週報ですが、会長メッセージの欄は海江田さんの時と違い、一週ずれて翌週に掲載されました。これも欠かさずやりましたね。これは結構負担でした（笑）。思いついたことを大体、300字の原稿用紙で5枚ほど書いていましたね。海江田先生の時はいきれいに4枚に納められて



いて、さすがでしたけれども、私の時はですね、文がうまくまとまらずに紙面が裏までできてしまうことが多かったですよ(笑)。うまく納めないとですね、編集の関係で会報委員の方と事務局の方に迷惑をかけちゃうもんで…。ほんとこれには泣かされましたよ!それくらいですかね。

司会

ありがとうございました。どの年の会長も週報には苦勞されたみたいですね(笑)。では、平成14～15年(2002～2003年)会長の水流さん、よろしくお祈いします。

水流

先ほどから話に上がっていますように、私の年度に海江田先生という素晴らしいガバナーが西クラブから出て頂いたことを大変誇りに思っております。私は、一月半ばかり副会長をやっていたわけなんです、幹事の経験もありませんでしたし、全く分からないところからのスタートでした。おかげさまで、海江田ガバナーを中心に皆様が非常によくまとまって頂いて本当に助かっています。西クラブの良い雰囲気を壊さずに、更なる西クラブの発展に努めていきたいと思ひますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようどうぞよろしくお祈いします。



水流 40代会長
洋

～拍手～

司会

最後に、水流会長の女房役を務めます、平成14～15年(2002～2003年)幹事の岩切さん、お祈いします。

岩切

私は地区大会や40周年を迎えるこの大変な年に、幹事

が務まるのか不安でしょうがなかったのですが、先輩方の完璧なご指導、ご協力で、これまで問題なく進めてくれたことに対して感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。私がやる事がなくなるくらい皆さんには援助して頂きまして、穴があいたら入りたい気持ちです(笑)。今期も残りわずかですがどうぞご指導よろしくお祈い致します。

～拍手～

司会

皆様ありがとうございました。では、今後のロータリーについてみなさんのご意見をお聞かせください。



岩切 40代幹事
豊

岩男

ロータリーのいいところはみんなの「志」が同じところなんです。それと、極めて自分以外のことを知りたいという欲望がみんな強いんです。そういう意味で西クラブはいい知恵を出し合ったいいクラブじゃないかと思うんですよ。市内には大小様々なロータリークラブがありますが、各々それなりの特色があるので、あんまりよそのクラブを数が多いだの少ないだのと気にしないで、「我々のクラブをどうやるか」ということに着目して行かなければならないと思うんです。これから先、またこういった周年行事があるでしょうから、静かに見守りながらともに成長して努力していきたいと思ひています。我々は仲間ですからね(笑)。

海江田

実際、ここ1、2年で急激に退会者が増えたクラブがかなりあるんですよ。辞められた事情を聞いてみますと、クラブの中の親睦がうまくいかないという、この一つなんで

すよ。だからお互いが自覚し合って親睦をいかに楽しく深めていくかということが非常に大事です。そういう点で西ロータリークラブはおそらく地区随一のいい雰囲気を持っているクラブではないかと思えます。ですから、退会者も他のクラブの様にどンドン減るということはおそらくないでしょうね。これを是非保ちながら更に一歩進めるならば、いわゆる社会奉仕的な活動にもう少し踏み込んでいければ尚いいのかなと思えます。まずはこのクラブの親睦という第一の起点で西ロータリークラブは誠に模範的な存在であるということです。そして、西ロータリークラブを模範にして他のクラブが色々始められたこともあります。学習会もそうですし、青少年に対する様々な働きかけもそうだと思います。今、地区全体に広がっています。ですから、お世辞は抜きで自分のクラブであるから言うのではなくて、どのクラブに行きましても、鹿児島西ロータリークラブは一つの憧れのクラブとして見られています。そこへ、ガバナーとして踏み込んでいくのは非常に誇らしいし、嬉しいことです。おかげさまで私がガバナーを務められたのもこのクラブの雰囲気、バックアップ体制、これがあってのおかげです。皆さんには大変ありがたく思っております。本当にありがとうございます。

～拍手～

高山

水流現会長、あのですね、あちこちの例会を見ておわかりとは思いますが、今の私たちのクラブは人間的にも非常にいい雰囲気ですよ。しかし、それだけではだめなんです。もう少しロータリーのことを詳しく見ないとね。「ロータリーとは何か?」ということが大切なんです。これは僕が経験したことなんです。委員長には必ず例会中に一言ずつ発言を求めます。「社会奉仕委員長、職業奉仕委員長何かありませんか?」というふうにな。いつも何か質問することによってメンバーを会の運営に参画させ理解させるんです。僕はそれを付け加えれば申し分ないと思うのですが、この辺をもう少し西クラブは強化していきましょう。会長、幹事経験者の皆さんがもう少し責任を持ってください。推薦されたんだという自覚を持ちましょう。推薦をした方はたくさんのメンバーの中からあなたを選んだのです。奉仕の理想なんです。それに応えるべく、中堅であるあなた方が、これまでロータリーを培ってきた先輩方に恩返しをしなければなりません。ロータリーをどう生きるかということです。一緒にがんばりましょう。

太原

最近の西ロータリークラブのことで、もう一ついいですか? この前のインターシティー・ミーティングなんですがね、「入会3年未満は必ず出席してください。出席できなかった人には再度学習会をやりませう。」というのがありましたよね。これはロータリーとして少しおかしいんじゃないかと思いました。「出てこない人はもういっぺん勉強しろ」と言っているように取れてね。これはロータリーとして良くない事ですよ。ロータリーは強制をしてはいけません。僕はそう思うのですが、皆さんどう思われますか?

須田

過去に、欠席をした人から罰金を取るという話がでたことがあります。

ロータリーはそういうものじゃないですよ。都合が悪くて出席できない人は仕方ないですよ。それを、学習会があるから出てこいというのは、これは行き過ぎではないかと思えます。

竹下

それにそういうことをやっても会があまり発展しないですよ。指導者ばかりが集まって来て、受ける人があまりいないという状態なんですよ。

江夏

例会の時に、出席している人に欠席のことをあつたことだとやかましく言ってもですね、聞いているのは出席している人ですから、結局欠席している人には伝わってないですよ。語弊がありますが、節度ある馴れ合いを許容するようなことがあってもいいのでは、と思うんですけどね。

佐伯

やはり強制するとロータリーそのものに反発し離脱していく人は増えていきますよ。

高山

私は、インターシティー・ミーティングでちょっと変わったことを話しました。「宗教も民俗も違うアメリカでロータリークラブというのはできたのだから、西洋料理だと思いなさい。嫌いな物は嫌いと言いなさい。どんな料理があるのか自分たちで学ばばいい。その中で、嫌いな物は食べなければいいんだ。日本料理で西洋料理よりもいい物を見つけた時は、アメリカにポンと投げてやればいい。簡

単に考えればいいんだよ。難しく考えるな、西洋料理だよ。みんなよりも西洋料理が食べられる所にいるのだから、西洋料理の勉強をしようよ。」と言ったことがありますね。

岩男

その通りですよ。ロータリーに入る時は皆さん人権と人格を持った方が入ってきていますから、画一性を強く主張するのはよくないと思うんです。学校ではないし、授業でもないですからね。みんな時間を節約して来られているのですから、それを無理強いされると、主旨、存在自体が間違った方向に向かってしまいますよね。その辺をガバナーよろしくお願いします。

海江田

地区リーダーシッププランとして、ガバナンスはどうでなければならないのか、ガバナーはどうでなければならないのか、地区の委員はどういうことをしないとイケないか、ということは今度しっかりした形で決めます。今までのものは紙切れ一枚の簡単な物でしたが、今回から10枚ほどのきちんとした物を作ります。今度の委員会で各クラブに流し、地区64クラブのうち3分の2の賛成を取りましたら確定の印をもらえます。そして、新年度からはこの新しいプランを実行に移す予定です。

川平

ガバナー補佐のあり方について、国際ロータリーがリーダーシッププランを決めました。各ロータリークラブというのは、国際ロータリークラブが決めたことを守らなければならないという所があります。しかし、国際ロータリーの動きが財政的なことに走りがち傾向にあり、納得いかなのも事実です。これに関しては、クラブの方から反発のきちんとした意見をRIの事務局に届けなければならない必要があります。多くのクラブが実施できていないのが現状です。我が西クラブもインターネットがこれだけ発達しているのですから、パソコンなどでRI活動に関しての多くの情報を把握すると同時に、不適當な活動がみえるとすれば指摘しなければなりません。各自が意識していくことで改善されていくと思います。我々は、国際ロータリーという連合体の一員なんですから。

江夏

海江田さん、ガバナーには詳細な年間予算の利用明細というのは配られるんですか？

海江田

詳細とまではいきませんよね。。

江夏

その辺が一番おかしい所ですよ。どんなふうにかが使われているのか。これだけの膨大な額の年会費を払っているわけですからその辺をしっかりとすべきですよ。もっと年会費を下げればクラブに入ってもいいという人はたくさんいるんですから。

司会

えー、鹿兒島西ロータリークラブ創立40周年を飾る座談会でしたが、後半はロータリーとは何ぞやという話になりましたね。これだけのそうそうたるメンバーが集まれば、最後はやはりこういう話になるのだなあ実感しました。本当に意義のある会になりました。ありがとうございました。

～ 拍手 ～

— 終り —

鹿児島西ロータリークラブ30年史要約

—クラブ創立から30周年まで—

鹿児島西ロータリークラブ

第21代会長 高井敏治

鹿児島西ロータリークラブは、今年創立40周年を迎え、記念式典を挙行することができた。ここに記念誌を発行し、40年の歩みを回顧するが、31年度から40年度は年度別にこの本に記載されるので、この稿では、それ以前の30年のことを要約する。この形式は30年史の編集に準じたものである。

ロータリーは1905年2月に、ポールP・ハリスによってはじめられた。あと2年で100年になるので、その記念大会が、シカゴでおこなわれる。

日本では、1920年に東京ロータリークラブが創立され、戦前は48クラブがあったが、戦時中にすべて解散し、戦後再生した。その時、国際ロータリー復帰の条件として、定款、細則を厳守すること、という条件があったので、日本のロータリーは伝統的に定款、細則の研究に熱心だといわれている。

鹿児島ロータリークラブが創立されたのは、1952年(昭和27年)10月で、昨年創立50周年を迎えられた。会員100名の伝統ある大クラブである。西クラブは、1963年3月23日に、鹿児島クラブをスポンサークラブとして、チャーターメンバー24名で発足した。南クラブに次ぐ市内3番目のクラブである。今、チャーターメンバーは小山幸義会員だけである。

創立以来の西クラブの概観であるが、初代櫻美四郎会長と、土橋英夫副会長は、鹿児島クラブからの移籍である。1年目は4ヶ月間だったから、2年目はそのまま留任された。クラブの基礎は、優れた会員にある、という櫻美会長の方針で、会員選考は厳しく、入会の難しいクラブであった。

1976～1977年に塘一郎会員が、ガバナーに就任された。当時は南九州4県が地区テリトリーであったので、塘さんはよく奥さんの実家、熊本の吉田司家を根城にしてクラブ訪問をされた。残念なことに、任期の終わった翌年正月に急逝された。お気の毒なことであった。

西クラブの30年の間で、注目されるものの一つは、会員数の増加である。初年度は30名であったが、創立10年式典時は80名、同20年時86名、同30年時101名に

なった。同40年時は89名であり、地区内第2位である。

なお日本では、その30年間に24,968人から88,647人に、世界でも53万人から、117万人に増加しており、世界的にロータリーが拡大した時期でもある。

西クラブでも外部拡大を活動方針の一つとし、一般にもロータリーの良さを知ってもらおうとした。はじめに1967年6月に、加治木ロータリークラブをつくり、1972年10月に加世田クラブ、同年12月に枕崎クラブ、1986年10月に城西クラブの結成をお手伝いした。

地区外クラブとの交流では、山形県鶴岡クラブとの兄弟盟約を、1965年5月に締結した。これは鮫島志芽太名誉会員のご尽力により、西郷南洲翁の遺徳をしのぶ鶴岡市と薩摩庄内会の交流にはじまる。1989年4月には、アメリカ、カリフォルニア州サンタローザ・サンライズロータリークラブとの姉妹盟約を結んだ。それは薩摩藩留学生であったカリフォルニアの葡萄王故長澤鼎(かなえ)翁が縁になっている。両クラブとも今回の西クラブ40周年記念式典には多数参加していただき、友情と親睦を深めた。

クラブ活動では、次代を担う青少年育成のため、県内はじめてのインターアクトクラブを1964年10月、県立鶴丸高校に設置し、更に1971年6月に私立鹿児島高校に設置した。両校の生徒を対象に、1990年より毎年「職業選択フォーラム」を開催している。これは高山義則会員の発案によるもので、進路選択の指針になると大変好評である。また両校に対し、RI創立75周年記念事業として、奨学金制度を創設している。

社会奉仕部門では、鹿児島西ローターアクトクラブを1976年6月に発足させ、以来活発な活動を続けており、1972年2月には、唐津東ローターアクトクラブと姉妹盟約を締結している。また、1998年1月鹿児島西プロバスクラブを発足させた。

職業奉仕部門では、1965年「鹿児島西ロータリー賞」を創設し、陽のあたらないところで黙々と奉仕活動をしている人々を表彰している。

国際奉仕部門では、姉妹盟約のサンライズロータリー

クラブとの間において、青少年交換学生事業を行っている。これは鹿児島サンタローザ友好協会と協力して行われるもので、1年ごと交互に学生を派遣している。

クラブ奉仕部門では、会員相互の研鑽、情報交換、新会員の育成を目的に「学習会」があり、月1回、夜、軽い食事をとりながら、テーマを決めて意見交換を行っている。1978年福田正臣会員の提唱によるこの学習会は、毎月活発に行われている。

西クラブの30年を回顧して、その主な出来事を拾い上げてみよう。

仮クラブとしての創立総会は、1963年3月23日鶴鳴館で、例会場も同所であった。例会は約半年は卓話なしで、ロータリーの学習が続いた。6月には国際ロータリーから加盟承認の通知があった。11月20日には認証状伝達式が山形屋で盛大に挙行された。その間2回の家族会もあり、チャーターナイトまで済むと、今まで殆ど知り合いでもなかった会員がすっかり融合し良い気風をつくりあげた。

1968年3月 クラブ創立5周年記念祝典(鶴鳴館)

1973年3月 クラブ創立10周年記念祝典。記念誌を発行した。

1976年7月 塘一郎会員ガバナー就任。

1977年4月 地区年次大会は、鹿児島でなく都城であった。

1978年4月 鹿児島市内で、八代の西田ガバナーの地区大会ホストクラブを務める。前年に続く変則措置であった。

1983年3月 鶴鳴館にてクラブ創立20周年記念式典実施。記念誌を発行した。県立図書館に青少年文庫を贈呈する。

1990年1月 三角桂次郎会長のとき、例会場を鶴鳴館から山形屋7階に移し、例会日は毎週木曜日から水曜日に変更された。鶴鳴館はクラブ創立以来27年間お世話になったところであり、思い出はつき

ない。なお、三角会員は、1992年12月ガバナー・ノミニーに就任されたが、翌年12月病気のために辞任されている。かなり準備されていただけに苦渋の決断をされたことであろう。

1993年3月 サンロイヤルホテルで創立30周年記念式典を行ない30周年記念誌を発行した。

上記のように、創立以来の40年を通じて、この1年程大きな行事を経験したことはなかったであろう。海江田ガバナーの仕事をサポートし、一方ではクラブ40周年記念事業をすすめて、両方とも立派にやりとげたのである。自画自賛といわれようが、私はこの二大行事の仕事ぶりに、西クラブの良さを再認識した。

海江田卓ガバナーは、あと僅かの任期を残しておられるが、ガバナー補佐から、ガバナー・ノミニーを経て、3年間引き続き地区のために奉仕された。すばらしいガバナーぶりであった。多くの苦勞を重ねられたようであるが深甚なる敬意を表したい。

40周年事業もこの記念誌発行でひとまず終了する。第30代岩元紀彦会長の発案で、30周年記念事業の1つとして「鹿児島見たまま 1992」という写真集が刊行された。今度40周年記念に、当時と今の比較写真集が作られる。見ると変わったものと変わらないものがあり、感慨深いものがある。ここに鴨長明、方丈記の冒頭の句を引用したい。

「行く河のながれは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、ひさしくとどまりたる例なし。世の中にある人とすみかと、またかくの如し。」

西クラブ40年、クラブは変わらず存在するが、会員は或いは去り、また新しく来るありで、変わっているようで、変わっていない。河のながれにさも似たりである。次の50年はどうなっているであろうか。

1993～1994
(H5～6)年度



会長
岩男 秀彦



幹事
佐伯 壽郎

役員・理事

会長 岩男 秀彦
副会長 吉留 益
幹事 佐伯 壽郎
副幹事 江夏 洋
理事 水流 洋・片平 可也・谷口 良康・福田 正臣
S A A 山下 和磨
副S A A 有馬 戦男・中川 宏
会計 上原 満

委員会

クラブ奉仕
会員選考
会員増強
職業分類
出席
親睦
ロータリー情報
会報・雑誌
プログラム
広報
職業奉仕
社会奉仕
青少年奉仕
インターアクト
ローターアクト
国際奉仕
ロータリー財団
ロータリー賞推薦

委員長

吉留 益
中尾 正昭
岩田 泰一
水渕 清治
高山 義則
松田 忠臣
白濱 英美
山下 皓三
古木 圭介
森永 茂樹
水流 洋
片平 可也
谷口 良康
染川 周郎
前田 樹一郎
福田 正臣
中村 一雄
吉留 益

◆主な活動

市内クラブの会長幹事会の当番
8・6水害に対し、鶴岡RCと一緒に
義援金を渡す

1994.3.30

おもちゃ図書館エンジェルに
(第28回ロータリー賞)

4.19

鶴岡RC35周年式典に17名参加

R I 2 7 3 0 地区インターアクト委員 海江田 卓
R I 2 7 3 0 地区ローターアクト委員 山下 皓三
R I 2 7 3 0 地区情報委員 白濱 英美

1994~1995
(H6~7)年度



会長
吉留 益



幹事
江夏 洋

◆主な活動

1994.11.11~13
地区大会のコホストをする。

1995.1.
阪神大震災の義援金拠出
2.6

I.Mのホスト

3.29
第29回ロータリー賞
(市身障害者福祉センター)

役員・理事

会長	吉留 益
副会長	岩元 基
幹事	江夏 洋
副幹事	中川 宏
理事	下脇 二則・竹下 洋・三反田 藤男・柴山 一清
S A A	有馬 戦男
副S A A	福田 一郎・原田 隼男
会計	前田 隆造

委員会

クラブ奉仕
会員選考
会員増強
職業分類
出席
親睦
ロータリー情報
会報・雑誌
プログラム
広報
職業奉仕(ロータリーボランティア委員会)
社会奉仕(環境保全委員会)
青少年奉仕
インターアクト
ローターアクト
国際奉仕
ロータリー財団
ロータリー賞推薦

委員長

岩元 基
宮脇 真一郎
須田 正己
榎田 浩典
菅 富男
村田 和雄
野添 良隆
黒木 幸一
竹下 威
光吉 正昭
下脇 二則
竹下 洋
三反田 藤男
江口 清隆
山田 晴彬
柴山 一清
太原 春雄
岩元 基

R I 2 7 3 0 地区インターアクト委員	海江田 卓
R I 2 7 3 0 地区ローターアクト委員	山下 皓三
R I 2 7 3 0 地区情報委員	白濱 英美

1995～1996
(H7～8)年度



会長
岩元 基



幹事
中川 宏

役員・理事

会長	岩元 基
副会長	玉川 哲生
幹事	中川 宏
副幹事	森永 茂樹
理事	水流 洋・福地 眞・松田 忠臣・玉利 賢介
SAA	野添 良隆
副SAA	樋渡 良一・榎田 浩典
会計	榎屋 稔

委員会

委員長

クラブ奉仕	玉川 哲生
会員選考	新川 靖博
会員増強	永松 實夫
職業分類	前田 樹一郎
出席	田中 寛吉
親睦	須田 正己
ロータリー情報	山下 健
会報・雑誌	水渕 清治
プログラム	山元 正明
広報	田崎 一郎
職業奉仕	水流 洋
ボランティア	高山 義則
社会奉仕	福地 眞
青少年奉仕	松田 忠臣
インターアクト	長柄 英男
ローターアクト	川平 建次郎
国際奉仕	玉利 賢介
ロータリー財団	坂元 明雄
ロータリー賞推薦	玉利 賢介

◆主な活動

- 1995.12.16
職業選択フォーラム(鶴丸高校)
- 1996.3.13
ゆうかり学園訪問
- 第30回ロータリー賞(日高京子様)

地区増強委員会委員	岩田 泰一
地区ローターアクト委員会委員	山下 皓三
地区ボランティア委員会委員	高山 義則
地区青少年奉仕委員会委員	古木 圭介

風船バレー九州大会



1996～1997
(H8～9)年度



会長
玉川 哲生



幹事
森永 茂樹

役員・理事

会長	玉川 哲生
副会長	高山 義則
幹事	森永 茂樹
副幹事	榎田 浩典
理事	岩元 基・山下 皓三・三反田 藤男・大平 重隆・古木 圭介
SAA	樋渡 良一
副SAA	玉利 賢介・板木 泰文
会計	上原 満

委員会

委員長

クラブ奉仕	高山 義則
会員選考	谷口 良康
会員増強	片平 可也
職業分類	村田 和雄
出席	山田 晴彬
親睦	深尾 兼好
ロータリー情報	竹下 威
会報・雑誌	天本 美信
プログラム	柴川 周郎
広報	山下 和磨
職業奉仕	山下 皓三
ボランティア	前田 樹一郎
社会奉仕	三反田 藤男
青少年奉仕	大平 重隆
インターアクト	江夏 洋
ローターアクト	川平 建次郎
国際奉仕	古木 圭介
ロータリー財団	岩田 泰一
ロータリー賞推薦	高山 義則

◆主な活動

1997.6.11
ゆうかり学園訪問
3.19
第31回ロータリー賞
(鹿児島手話サークル「太陽」)

地区増強委員会委員	岩田 泰一
地区ボランティア委員会委員	高山 義則
地区青少年奉仕委員会委員	古木 圭介
地区インターアクト委員会委員	海江田 卓

クリスマス家族会



1997～1998
(H9～10)年度



会長
高山 義則



幹事
榎田 浩典

◆主な活動

職業選択フォーラム(鶴丸高校)

1998.1.23

西プロバスクラブ設立

3.25

第32回ロータリー賞(黒神中)

5.20

ゆうかり学園訪問(ピアノ・フルート)

役員・理事

会長 高山 義則
副会長 海江田 卓
幹事 榎田 浩典
副幹事 岩田 泰一
理事 玉川 哲生・有馬 戦男・野添 良隆・竹下 洋・天本 美信
S A A 板木 泰文
副S A A 中村 英幸・諏訪園 隆
会計 小園 正人

委員会

委員長

クラブ奉仕	海江田 卓
会員選考	中川 宏
会員増強	小山 幸義
職業分類	佐伯 壽郎
出席	山下 健
親睦	長柄 英男
ロータリー情報	川平 建次郎
会報・雑誌	坂元 明雄
プログラム	柴山 一清
広報	中村 一雄
職業奉仕	有馬 戦男
ボランティア	水流 洋
社会奉仕	野添 良隆
青少年奉仕	竹下 洋
インターアクト	玉利 賢介
ローターアクト	南 徹
国際奉仕	天本 美信
ロータリー財団	須田 正己
ロータリー賞推薦	海江田 卓

地区増強委員会委員	岩田 泰一
地区ボランティア委員会委員	高山 義則
地区青少年奉仕委員会委員	古木 圭介

県庁職場訪問



1998~1999
(H10~11)年度

役員・理事



会長
海江田 卓



幹事
岩田 泰一

会長 海江田 卓
副会長 太原 春雄
幹事 岩田 泰一
副幹事 村田 和雄
理事 高山 義則・山田 晴彬・菅 富男・松田 健一・黒木 幸一
S A A 中村 英幸
副S A A 諏訪園 隆・藤安 秀一
会計 森永 茂樹

委員会

委員長

クラブ奉仕	太原 春雄
会員選考	前田 樹一郎
会員増強	有馬 戦男
職業分類	岩元 基
出席	玉利 賢介
親睦	正 建二郎
ロータリー情報	中嶋 健
会報・雑誌	坂木 貞剛
プログラム	加藤 一徳
広報	江口 清隆
職業奉仕	山田 晴彬
ボランティア	山下 皓三
社会奉仕	菅 富男
インターアクト	池田 勝一郎
ローターアクト	南 徹
国際奉仕	黒木 幸一
ロータリー財団	原田 隼男
ロータリー賞推薦	太原 春雄

地区ボランティア委員会委員 高山 義則
地区新世代委員会委員 古木 圭介

◆主な活動

職業選択フォーラム(鹿児島高校)
1999.3.24
第33回ロータリー賞(古別府久志様)
4.21
ゆうかり学園訪問
4.25
鶴岡RC40周年参加
東北旅行

句会



観月会



職場訪問



その後の10年の歩み

鹿児島西ロータリークラブ年代別理事・役員・委員会構成

1999～2000 (H11～12)年度



会長
太原 春雄



幹事
村田 和雄

役員・理事

会長 太原 春雄
副会長 山元 正明
幹事 村田 和雄
副幹事 川平 建次郎
理事 海江田 卓・竹下 威・若松 喜八郎・銚之原 大助・南 徹
S A A 諏訪園 隆
副S A A 石橋 渡
会計 岩元 基

委員会

クラブ奉仕
会員選考
会員増強
職業分類
出席
親睦
ロータリー情報
会報・雑誌
プログラム
広報
職業奉仕
ボランティア
社会奉仕
新世代
インターアクト
ローターアクト
国際奉仕
ロータリー財団
米山記念奨学会
ロータリー賞推薦

委員長

山元 正明
水渕 清治
大平 重隆
松田 忠臣
野添 良隆
中園 雅治
染川 周郎
竹下 洋
古木 圭介
深尾 兼好
竹下 威
福田 一郎
若松 喜八郎
銚之原 大助
日高 好久
藤川 毅
南 徹
永松 實夫
川平 建次郎
山元 正明

◆主な活動

1999.8.2
第250回記念ロータリー学習会に
竹下 巖 分区代理を迎える
11.11
職業選択フォーラム(鶴丸高校)
2000.3.15
第34回ロータリー賞(小川景一様)
5.16～6.9
南会員GSEチームリーダーで参加
5.13
ボランティア活動としてゆうあい館訪問
5.20～21
ライラ(ホストクラブとして実施)

地区ボランティア委員会委員長 高山 義則
地区新世代委員会委員 古木 圭介

ライラ



講師



講師



2000～2001
(H12～13)年度



会長
山元 正明



幹事
川平 建次郎

役員・理事

会長 山元 正明
副会長 竹下 威
幹事 川平 建次郎
副幹事 須田 正己
理事 太原 春雄・田崎 一郎・若松 喜八郎・須田 正己
S A A 岩切 豊
副S A A 小田代 憲一・秋月 宗近
会計 岩元 基

委員会

クラブ奉仕
会員選考
会員増強
職業分類
出席
親睦
ロータリー情報
会報・雑誌
プログラム
広報
職業奉仕
ボランティア
社会奉仕
新世代
インターアクト
ローターアクト
国際奉仕
ロータリー財団
米山記念奨学会
ロータリー賞推薦

委員長

竹下 威
水流 洋
榎田 浩典
坂元 明雄
正 建二郎
板木 泰文
南 徹
庵木 英雄
徳留 忠敬
桐明 桂一郎
田崎 一郎
玉利 賢介
若松 喜八郎
福元 紳一
樋渡 良一
天本 美信
長柄 英男
前田 樹一郎
須田 正己
竹下 威

◆主な活動

2000.12.16
職業選択フォーラム(鹿児島高校)
2001.3.7
第35回ロータリー賞(伊東星、光子様)
5.10
西RAC600回記念例会並びに
25周年記念式典(南日本新聞社会館)
5.17
新世代のためのロータリー会議
(ホストクラブ)

第2730地区 鹿児島市内分区・ガバナー補佐 海江田 卓
第2730地区 地区ガバナー・ノミニー 海江田 卓
第2730地区 地区幹事・ノミニー 岩田 泰一
第2730地区 ボランティア委員会・委員長 高山 義則
第2730地区 新世代委員会・委員 古木 圭介(6月まで)
第2730地区 G S E委員会・委員 徳留 忠敬(6月から)
創立40周年 記念事業実行委員会・委員長 南 徹
小山 幸義

新世代のための会議



全国RA研修会



25周年記念



2001~2002
(H13~14)年度



会長
竹下 威



幹事
須田 正己

役員・理事

会長	竹下 威
副会長	水流 洋
幹事	須田 正己
副幹事	岩切 豊
理事	山元 正明・山下 健・池田 勝一郎・川畑 宏二・江口 清隆
SAA	若松 喜八郎
副SAA	片平 可也・秋月 宗近
会計	岩元 基

委員会

委員長

クラブ奉仕	水流 洋
会員選考	諏訪園 隆
会員増強	竹下 洋
職業分類	山下 皓三
出席	中村 英幸
親睦	深尾 兼好
ロータリー情報	南 徹
会報・雑誌	加藤 一徳
プログラム	有馬 戦男
広報	坂木 貞剛
職業奉仕	山下 健
社会奉仕	池田 勝一郎
新世代	川畑 宏二
インターアクト	濱田 悦郎
ローターアクト	有村 仁志
国際奉仕	江口 清隆
ロータリー財団	山田 晴彬
米山記念奨学生	岩切 豊
ロータリー賞推薦	水流 洋

◆主な活動

- 2001.1.12
職業選択フォーラム(鶴丸高校)
- 3.16~17
PETS(担当西RC)
- 3.27
第36回ロータリー賞
(ひまわり電車を走らせる会)
- 5.12
地区協議会(担当西RC)

第2730地区	ガバナー・エレクト	海江田 卓
第2730地区	ボランティア委員会・委員長	高山 義則
第2730地区	新世代委員会・委員	徳留 忠敬
第2730地区	GSE委員会・委員	南 徹
創立40周年	記念事業実行準備・委員長	水流 洋

地区大会PR



2002～2003
(H14～15)年度



会長
水流 洋



幹事
岩切 豊

役員・理事

会長	水流	洋						
副会長	片平	可也						
幹事	岩切	豊						
副幹事	染川	周郎						
理事	竹下	威・藤川	毅・高山	義則・樋渡	良一・玉利	賢介		
SAA	有村	仁志						
副SAA	内村	二郎・小園	啓一					
会計	佐伯	壽郎						

委員会

委員長

クラブ奉仕	片平	可也
会員選考	若松	喜八郎
会員増強	鮫島	信一
職業分類	竹下	洋
出席	池田	千明
親睦	天本	美信
ロータリー情報	正	建二郎
会報・雑誌	庵木	英雄
プログラム	町田	猛
広報	桐明	桂一郎
職業奉仕	藤川	毅
ボランティア	上原	満
社会奉仕	高山	義則
新世代	樋渡	良一
インターアクト	大山	康成
ローターアクト	日高	好久
国際奉仕	玉利	賢介
ロータリー財団	長柄	英男
米山記念奨学生	染川	周郎
ロータリー賞推薦	片平	可也

◆主な活動

2002.12.7
職業選択フォーラム(鹿児島高校)

2003.3.22
第37回ロータリー賞
(エンゼル聴導犬協会)
(40周年式典の席上にて表彰)

※他に毎年
・8月に西RC、プロバス
RACとの合同懇談会
・報道機関との懇談会
・新入会員とのオリエンテーション

第2730地区	ガバナー	海江田 卓
第2730地区	青少年交換委員会委員長	古木 圭介
第2730地区	雑誌・インターネット委員会委員	川畑 宏二
第2730地区	年次寄付財団情報委員会委員	岩元 基
第2730地区	クラブ奉仕委員会委員	岩男 秀彦
創立40周年	記念事業実行準備委員長	水流 洋
創立40周年	記念事業実行委員会委員長	太原 春雄

学習会



その後の10年の歩み 物故会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

外西 寿彦



平成5年7月21日逝去
享年69歳
25年在籍

川田 恵一



平成6年12月28日逝去
享年74歳
23年在籍

下脇 二則



平成8年2月5日逝去
享年69歳
13年在籍

川村 洋



平成8年6月30日逝去
享年84歳
25年在籍

永松 實夫



平成12年5月5日逝去
享年67歳
19年9ヶ月在籍

徳田 基



平成12年12月21日逝去
享年97歳
35年在籍

和田 武弘



平成13年2月6日逝去
享年66歳
2年6ヶ月在籍

原田 隼男



平成13年3月6日逝去
享年65歳
10年6ヶ月在籍

菅 富男



平成13年4月8日逝去
享年53歳
9年7ヶ月在籍

浜田 馨(退会后)



平成13年11月14日逝去
享年90歳
29年在籍

岩元 紀彦(退会后)



平成14年2月7日逝去
享年84歳
27年在籍

歴代ロータリー賞贈呈・受賞者紹介

第28回 H6・3/30

おもちゃ図書館エンジェル

(代表者 松永文子)

心身に障害をもつ子供達におもちゃ図書館を通じて、閉鎖的になりがちな障害児とその保護者に希望の光を与える

第29回 H7・3/29

鹿児島市心身障害者総合福祉センター

(友愛館 中川正恵)

身体障害者の生活にリハビリテーション、親睦等に役立つ風船パレーを考案し、その普及に貢献

第30回 H8・3/13

日高京子

鹿児島西ローターアクト会員 副会長として活躍。生まれつきの脳性麻痺による手足及び言語の障害を自らの努力で克服

第31回 H9・3/19

鹿児島手話サークル「太陽」

(代表者 大久保由美子)

手話サークル活動を25年に渡りボランティア活動を続けている

第32回 H10・3/25

黒神中学校

(校長 玉江嘉三 学生 松元光一郎・田中詩織)

桜島の埋没廃居潤掃を20年間続ける。学校のトイレを観光客に開放

第33回 H11・3/24

古別府久志

定休日返上で知的障害児施設、明星学園での散髪ボランティア

第34回 H12・3/15

小川景一

2年半もの間、中国で実践的な広告デザインを指導

第35回 H13・3/7

伊東星・光子

15年前より吉野の身体障害者療護施設「愛光園」で散髪のボランティア

第36回 H14・3/27

ひまわり電車走らせる会

(代表者 後藤充治)

1994年から毎年秋に、市電・市バス・JR・フェリーを使用して障害者を街へ連れ出そうと活動しているボランティアグループ

第37回 H15・3/22

エンゼル聴導犬協会

(代表者 石原みち子)

聴覚障害者の心と体のパートナーとして、聴導犬育成のためにエンゼル聴導犬協会設立に尽力

チャーターメンバー (24名)

安楽 慶一郎
福井 浩
船木 潔
掘 俊一
犬伏 康夫
岩元 健吉
岩元 正二
河井 時義
川村 洋
小山 幸義
倉園 清一
黒木 長太郎
牧田 健二
松元 明人
大小田 友一
大山 実
西郷 隆永
櫻美 四郎
柴山 一雄
島津 忠丸
田原 誠助
塘 一郎
土橋 英夫
米倉 英雄

ポール・ハリス・フェロー (101名)

(故)塘 一郎	田中 寛吉	江口 清隆	中園 雅治
柿市 高重	太原 春雄	佐伯 壽郎	川畑 宏二
藤安 辰造	榎田 浩典	本田 亨	南 徹
(故)牧田 健二	水流 洋	海江田 卓	池田 勝一郎
河井 時義	梁川 周郎	三反田 藤男	鮫島 信一
(故)川村 洋	(故)永松 寛夫	(故)柴山 一清	深尾 兼好
(故)土橋 滋	森永 茂樹	野添 良隆	小田代 憲一
川上 鐵太郎	前田 樹一郎	東郷 三郎	秋月 宗近
(故)川田 恵一	岩田 泰一	有馬 戦男	庵木 英雄
(故)徳澤 紀生	銚之原 大助	中嶋 健	池田 千明
(故)海老原 利則	竹下 威	加藤 一徳	桐明 桂一郎
有馬 志享	山元 正明	藤川 毅	橋元 忠也
林 其為	山田 晴彬	(故)和田 武弘	福島 徹郎
(故)外西 寿彦	長柄 英男	大浦 教一	松田 健一
(故)安田 正治	松田 忠臣	田畑 勇	中村 英幸
池田 廣	田崎 一郎	正 建二郎	西川 明寛
福田 敏之	中川 宏	(故)原田 隼男	小山 幸義
(故)岩元 紀彦	若松 喜八郎	天本 美信	川平建次郎
村田 和雄	板木 泰文	坂木 貞剛	諏訪園 隆
木治屋 克己	玉利 賢介	藤安 秀一	櫻美 義明
上原 満	樋渡 良一	岩切 豊	古木 圭介
岩元 基	山下 皓三	有村 仁志	濱田 悦郎
竹下 洋	須田 正己	徳留 忠敬	原 正親
岩男 秀彦	江夏 洋	日高 好久	
中村 一雄	福田 一郎	藤 裕己	
三角 桂次郎	山下 和磨	福元 紳一	

西ロータリークラブの 学習会 について

会員 福田 正臣

私達の鹿児島西ロータリークラブには「学習会」という、特異な「ロータリー勉強の会」があります。毎月1回、第1週の月曜日に、会員の希望者が集まって、夕方6時半から8時半までの2時間、ロータリーのもろもろのことについて勉強するのです。特に指導の講師を迎えての勉強ではなく、会員一同が自由に発言し、お互いに質疑応答しながらロータリーを学ぶという会合であります。

クラブの理事会や情報委員会から提案されたテーマについて討論し勉強することもあれば、特にテーマ無しで自由発言に始まり、談論風発、談笑のうちいつかひとつの問題に絞られて熱心な討論に進むということもあります。討論の結果、それなりの結論に達することもあります。何等結論を得ないこともあります。それはそれでよいのです。ロータリーを知りたい、ロータリーを勉強したい、という念いで学習会に出席して発言し、討論するということ自体に大きな意義があると言えます。

さて、学習会は会員の義務出席ではありません。自由出席であります。勉強したいと思う人の集まりです。従って毎会の出席者は少ない時は10人位、多い時は24、5人位です。とかくこのような会合は、次第に出席者の顔ぶれが決まり、いわゆる常連の集まりになりがちですが、私共の学習会では、入会后3年迄のいわゆる新入会員は、半ば義務出席とされていますので、その都度新旧会員適当に混じっての新鮮な雰囲気が出るのです。

さて、午後6時半、学習会は先づ“ビールで乾杯”に始まって夕食に入ります。そして7時を過ぎる頃に勉強会が始まるのです。知らぬを恥とせず質問する率直な姿勢、男と男が腹打ち割って語り合う、うちとけた雰囲気この学習会は、期せずしてそのまま会員同士の親睦の会になったのであります。いかなる会合にも優る最高の親睦の会になりました。このようにして学習会は、ロータリークラブの基本理念である「奉仕と親睦」の、その親睦に大きく貢献していることとなります。今や西クラブの学習会は、クラブ例会の分身として、例会と不即不離の好ましい関係を保っているのであります。

「鹿児島西ロータリークラブ学習会」は今から25年前の昭和53年の8月に誕生しました。以来二十有五年、ここに300回の学習会を迎えました。よくも長く続いたものだと感慨ひとしお深いものがあります。ここで学習会発足

の頃をふり返って見たいと思います。

昭和53年の7月(ロータリー新年度の始まり)に、私は情報委員長を仰せつかりました。入会后まだ7年という、ロータリアン経験の浅い私にとって、情報委員長は身不相応な大任でした。大変なことになったぞとひどく緊張した私は、ロータリーについて初めから勉強しなごうと決心し、同じ西クラブの会員で、鹿児島大学教育学部の教授でロータリーについて深く研究されて造詣の深い山下静雄先生(故人)にお願いして、ロータリーについて講義をして貰うことにしました。はじめは全く学校に於ける講義のような堅苦しい形式でありましたが、受講者も三人となって雰囲気も和らぐ中で、私は、先生の高邁な学識と熱心な御指導のおかげでロータリーに関して沢山勉強することが出来ました。数回に亘る先生の御講義が終って、それから後は上述のような「会員相互による勉強会」になって今日に到ったのであります。

世の中には、初め多数の会員で華やかに発足したものの、龍頭蛇尾、いつか消えて無くなる会合もある中で、私共の西クラブ学習会は、3人の会員が講義を聞くという勉強会から出発して、やがて会員同士の「自由発言、而も熱心な討論」という特異な学習会に成長しました。入れ替わり、立ち替わりしながらも毎回10人乃至20人の出席者を維持して300回。もっと大きな会にしようなどと力むこともなく、小さくもならず、大きくもならず、程良さを守って、地味に、地道に続けた300回。「平凡の続行」が良かったのでしょ。う。「健全な歩み」だったと言うべきでしょう。「楽しみながら勉強し、勉強しながら友を得る」という、まことに望ましい性格の西クラブ学習会、全国の数あるロータリークラブの中で恐らく他に類を見ない特有の西クラブ学習会は、25年、300回の今日、完全に西クラブに定着しました。鹿児島西ロータリークラブが存続する限り、「西クラブ学習会」は誇りを以ていつまでも続くこととしましょう。



学習会風景

インターアクトについて

会員 大山 康成

“将来に向けて夢を持っているのだろうか?” 10数年前、高山義則会員をはじめ多勢のロータリアンが学生に対してふっと感じたそうです。“このままでは、鹿児島は、日本は、世界から取り残される。ロータリアンとして何か出来ないだろうか”そこで企画されたのが職業選択フォーラムです。青少年奉仕の開発に対して鹿児島西ロータリーのメンバーの潜在能力を発揮出来る機会であり、新世代が社会生活に積極的に関心を持ち、指導力を培う機会に恵まれるよう、ロータリアンの知恵と勇気を伝えられる機会となるよう考え出されました。現在もその思いは脈々と歴代委員長に受け継がれています。第12回の本年は、もう一步青少年に近づきたいとの思いで分科会の形式をとりました。パネラーはベテランから若手そして女性にも登場して頂き、第一分科会は医療・福祉分野、第二分科会はビジネス・サービス・公務員分野、第三分科会は環境・情報・技術分野に分かれ開催されました。聞き手の高校生側も鹿児島高等学校の生徒さんを中心に鶴丸高等学校、鹿児島商業高等学校、鹿児島情報高等学校、鹿児島純心女子高等学校等多勢の参

加を頂き、多彩な企画となりました。各分野の専門家の登場に、普段と違った雰囲気では最初はおとなしかった高校生も、ユーモアたっぷりで情熱に溢れたパネラーの話に思わず引き込まれて目を輝かせていました。感想文の中にも「こんな場所で話す人は最初から自分のやりたいことで成功した人と考えていたが、意外にも挫折の中から立ち上がった人がいる」、「好きでない仕事を好きになって成功した人がいることに気づいた」など高校生の心の中にも衝撃を与えたようです。時代は変化しても、将来の夢や職業に対する不安など青少年の多くが抱える悩みは変わらない。ちょっとした出会いから全く違った世界に飛び出すこともあります。地域社会の奉仕に関心を抱く青少年に対して、社会の先輩方からの体験や知恵、時には挫折から這い上がる勇気を聞く経験は、将来、自己を確立し自分の能力を表現していく上で必ずや役に立ち、大いなる未来に繋がる“心のよりどころ”になることを期待します。

鹿児島西プロバスクラブの歩み

ロータリークラブの社会的な奉仕活動においては、「人間尊重」の中で、高齢者のための活動としてプロバスクラブをつくることも含まれていました。

鹿児島西ロータリークラブでは、1997年に高山義則会長のもとでプロバスクラブの結成が進められ、翌1998年1月23日に「鹿児島西プロバスクラブ」が発足しました。鹿児島西プロバスクラブは、かつて専門職務(Professional)と事業(Business)に携わった経験を持つ人々が、仲間として、自由な立場で、楽しく集い、しかも、政治・経済・宗教にかかわりがないことなどを会の目的・性格としており、定例会は個性的な魅力的な知的な集いになっています。

発足から6年目を迎えておりますが、これは、会員の協力とともに鹿児島西ロータリークラブの支援のお蔭であります。

特色としては、収入は会員の会費のほかに鹿児島西ロータリークラブからの援助金があることです。また、定例

鹿児島西プロバスクラブ 幹事
吉武 和臣

鹿児島西プロバス設立表彰



会にはロータリークラブ会長・社会奉仕委員長などのロータリアンがいつも出席されていることです。

ロータリーの社会奉仕の1プログラムに、引退者の専門活動の継続を援助するとともに、その技術と経験を世のために役立たせることがあります。この趣旨を活かすためのプロバスクラブの活動としては、会員の素晴らしい学識経験・豊富な人生経験に基づく定例会の卓話と会員の著作物の一部をまとめた、第一巻(一年分)・第二巻(二年分)の冊子を、西ロータリークラブ会員などに配布しました。この冊子は、若い方々の人生の知恵・知識の参考になるのではないのでしょうか。

現在、会員数は11名です。会員数はもう少し増加したほうがよいとの意見があります。今後も鹿児島西ロータリークラブの支援のもとに、「鹿児島西プロバスクラブ」は活気ある楽しいクラブであり続けると確信しています。

地区協議会報告

国際ロータリー第2730地区、2002～2003年度のための地区協議会のホストクラブを鹿児島西RCで引き受け、平成14年5月12日(日)、好天に恵まれ開催されました。

30数年ぶりの大役で、会場予約は1年半以上も前に始め、クラブ会員の役割分担、ガバナー・エレクト事務所での数を重ねての打ち合わせ、使用会場での試食会等、皆様のご協力で終えることが出来ました。

鹿児島西RCの会員をはじめ、コ・ホストクラブの鹿児島城西RC・鹿児島サザンウィンドRCの皆様、開催会場のサンロイヤルホテルとベイサイドガーデンのスタッフの方々、皆様に感謝しています。

当日は、多数のバスター・ガバナーの参加のもと、大淵達郎ガバナーのアドレス、次期ガバナー補佐、次期クラブ役員、次期各委員長の出席を得、午前中の「本会議」では、次年度RI会長テーマ「慈愛の種を播きましょう」、第2730地区の次年度基本方針の説明がありました。午後からは15会場に別れての「部門別協議会」がありロータリー会員の役割と責務についての教育と討議が行われました。各自、実り多い協議会を終え、次年度への活力を持って各クラブへの帰路となったと思います。

地区協議会にご協力くださいました皆様に改めて心より感謝申し上げ報告と致します。

地区協議会実行委員長 榎田 浩典



本会議会場風景





地区協議会ホストクラブ 水流洋会長挨拶



海江田 卓 ガバナー・エレクト挨拶





ガバナー・アドレス
大淵 達郎ガバナー



次年度地区役員紹介



地区協議会報告

部門別協議会 (サンロイヤルホテル1~3階、ベイサイドガーデン2階)



海江田卓ガバナー年度・地区大会を顧みて

鹿児島西ロータリークラブから地区ガバナーを選出したのは、創立14年目(1976～1977年度)の塘一郎ガバナー(第3代鹿児島西RC会長)以来、実に26年ぶりのことである。

第37代太原春雄会長・村田和雄幹事の年度に、地区ガバナー選定委員(海江田順三郎P.Gと佐々木典綱P.G)がクラブを訪問され、鹿児島西RCからのガバナー選出を要請された。確かに鹿児島西RCは地区の模範的なクラブとしての名声は高く、ガバナーとしての適格者も数多い。しかし以前のいろいろな経緯とか、指名できそうな方々の個人的なご都合から、当時の段階では要請にお応えできないということがクラブ理事会で正式に決定され、その報告に関する手順も検討されていた。ところが次の年度(第38代山元正明会長・川平建次郎幹事)の初頭に、急遽、海江田卓会員(第36代鹿児島西RC会長)を2002～2003年度の地区ガバナーとして推挙することを、決定することができた。更に地区はその申し出を受理し決定するに至った。鹿児島西RCは、改めて地区の奉仕活動に協力し、創立40周年の記念事業の中心的位置付けとしてガバナーを選出することになったのである。

鹿児島西RCの現有会員総数90余名中、塘一郎ガバナー年度に活躍された会員は、小山幸義、高井敏治、岩元基、小園正人、三角桂次郎、古木圭介、池口恵観、福田正臣、佐伯壽郎、水測清治、岩男秀彦、中村一雄、太原春雄の13名に過ぎず、今やいずれもクラブの大御所的な存在の方々である。ガバナー事務局や地区大会を企画し運営することになった担当者にとっては、まさに手探りの状態であった。早速着手しなければならないことはクラブを挙げての組織作りと準備作業であった。多くの英知を集めて記念の年度にふさわしい体制が整った。ところが間もなく、唯一の

チャーターメンバーであり、クラブの第40代会長として、またクラブ創立40周年記念事業の実行委員長として予定されていた小山幸義会員が、突然の病魔に見舞われ、交代を余儀なくされた。残念至極であった。しかし特筆すべきは、地区ガバナー事務所と鹿児島西RC(第39代竹下威会長・須田正己幹事年度および第40代水流洋会長・岩切豊幹事年度の会員と事務局)との連携の良さであった。ガバナー事務所の運営、地区の各行事の準備と実施、クラブ内の各行事の遂行に際し、いかなる突発的な事態に対しても、お互いに心配りを怠らず、経験者から新米までが插るぎない団結をもって対処した。その結果すべての行事を歴史に残るような出来栄で成し遂げたのである。

役日柄、地区大会に関して一言報告する。作業は安満良明ガバナー年度の地区大会の日に、次々年度の地区大会の会場を確認するところから始まった。次いで、大淵達郎ガバナー年度の地区大会に大挙参加して、委員会毎に情報収集と立案をした。記念講演の講師も早々と決定した。海江田卓ガバナー年度になると、玉川哲生地区大会実行委員長と川平建次郎幹事は鹿児島市内の全てのクラブと加治木RCを訪問し、協力を要請した。各担当委員長は、具体的な詰めの作業を進め、一喜一憂しながらも確実に歩を進めた。結果的には反省すべき点も多々あるが、当日の、あるいはその後、記録誌の編纂と発送に至るまで、鹿児島西RCの英知は遺憾なく発揮されたのである。今回、地区大会のコ・ホストクラブとしてご協力頂いた加治木RC、加世田RC、枕崎RC、城西RC、サザウインドRCの皆様は、改めて厚く感謝する。

(本稿は地区大会実行委員会玉川哲生委員長のご校閲を頂いた)

地区協議会実行委員会幹事 川平 建次郎



記念ゴルフ大会(高牧カントリークラブ)



RI会長代理歓迎晩餐会(サンロイヤルホテル)



受付風景



友愛の広場



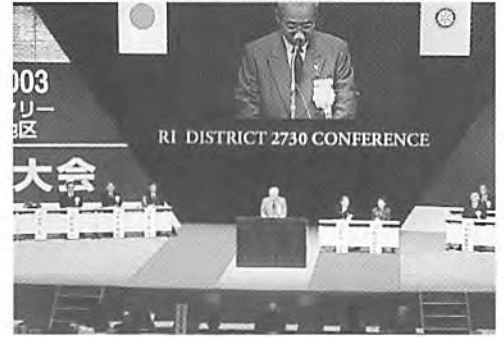


地区大会を顧みて



海江田卓ガバナー・アドレス

水流洋ホストクラブ会長挨拶



次期開催地PR



特別講演

レディスプログラム
視覚障害者ボランティア・アピールライブ
盲目のドラマー鍋島敏明とその仲間達



受付、友愛の広場をお手伝い頂いた皆様



地区大会を顧みて



懇親会



フェアウェルパーティー

変わるもの 変わらぬもの

写真集

— 8.6水害がもたらした激動の10年 —



黎明鹿児島街

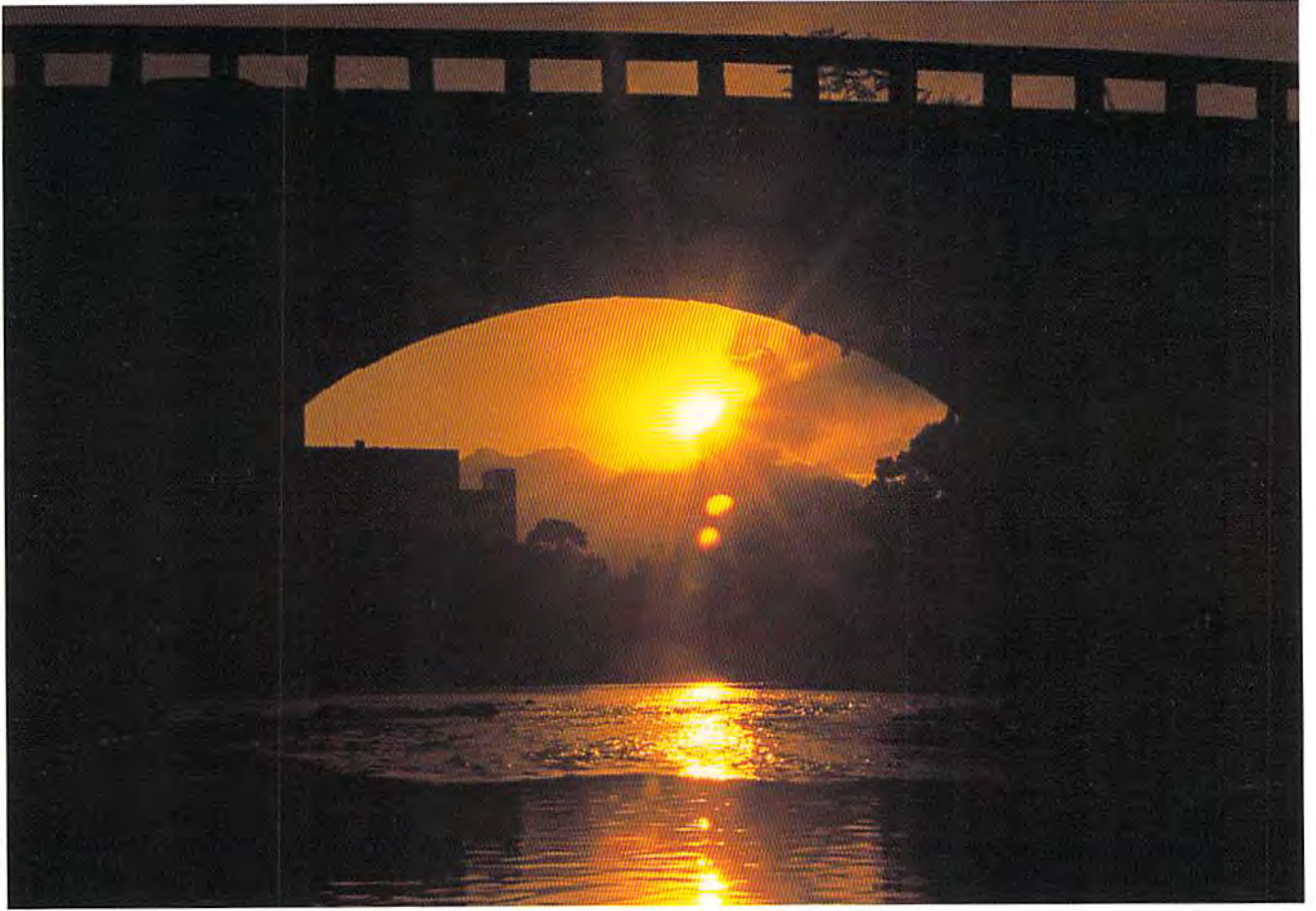


新幹線を迎え大きく変貌する鹿児島市 (03年)

五大石橋かつての面影



満々と流れる川に五連橋の姿をみせる武之橋

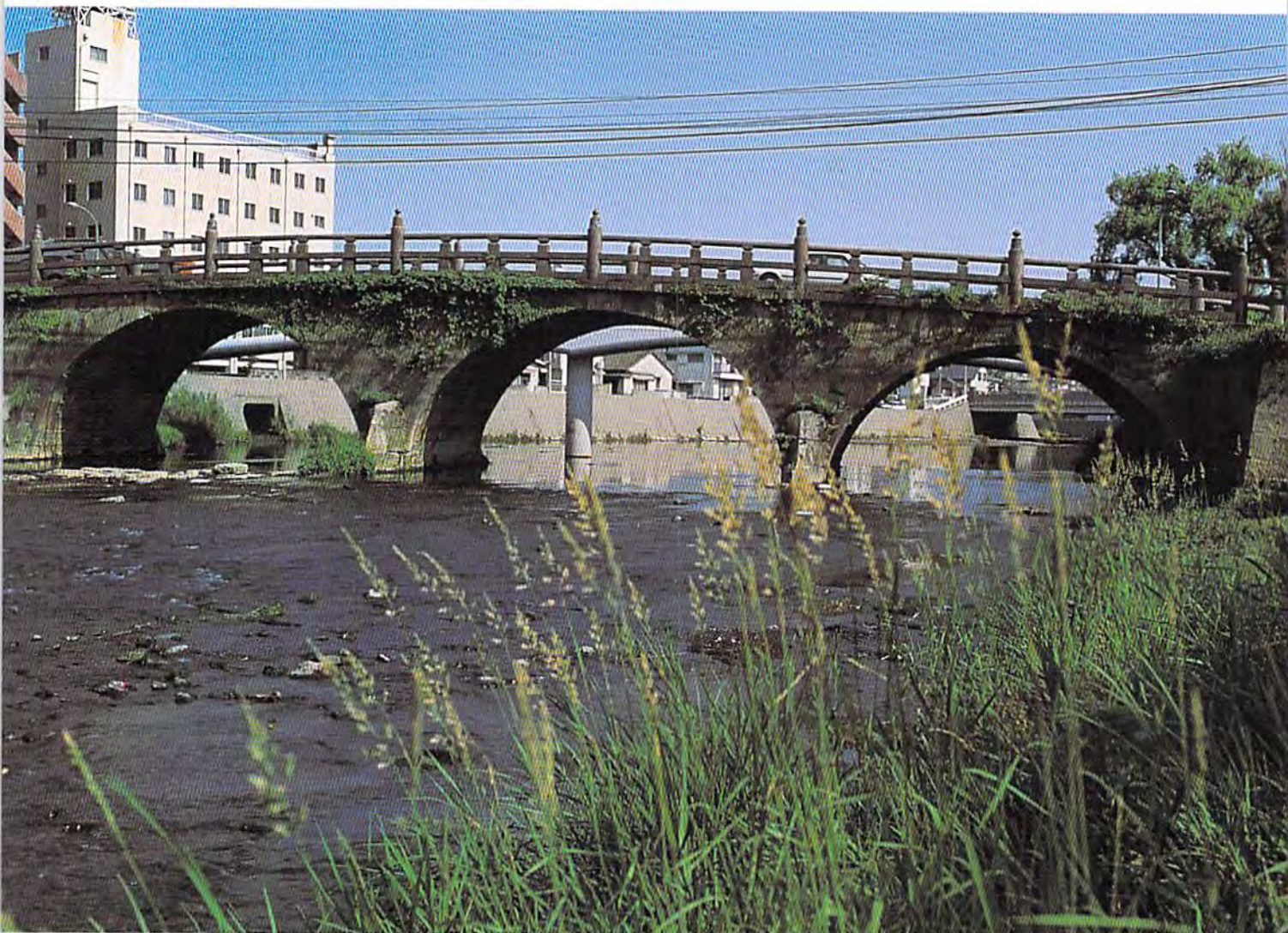


朝日と高麗橋



桜島の背景が良く似合う高麗橋





殿様行列も渡った西田橋



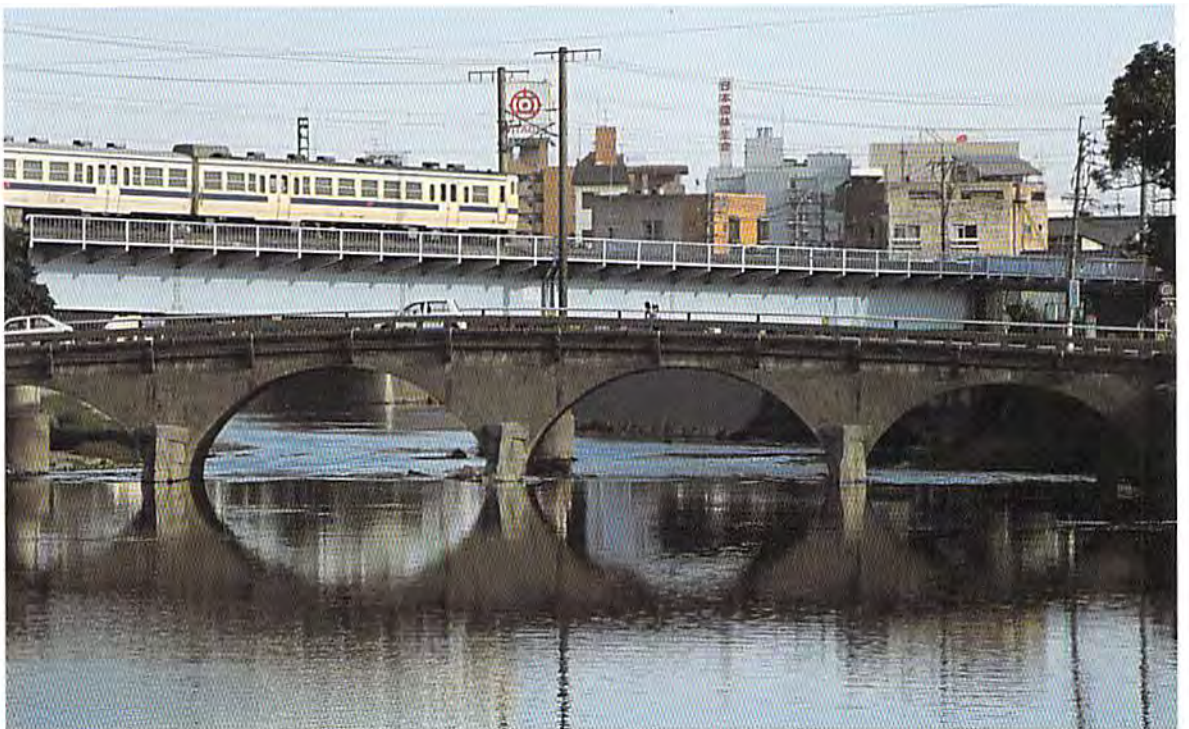
水切りの工夫を凝らした西田橋



擬宝珠の欄干は西田橋



上空から西田橋 上は平田橋



兵六物語の舞台になった新上橋



ひっそりと上流にあった玉江橋

五大石橋

鹿児島市内を流れる甲突川には、上流から玉江橋、新上橋、西田橋、高麗橋、武之橋の五つの大きなアーチ石橋が架かり、「甲突川の五大石橋」と呼ばれて親しまれていました。この五大石橋は江戸末期に城下整備の一環として架けられたもので、薩摩藩の財政改革の成功と肥後から招かれた名石工「岩永三五郎」によって架橋が実現した歴史的所産です。

しかし、平成5年8月6日の集中豪雨による洪水で、五大石橋のうち新上橋、武之橋が流失、他の3橋も河川改修に合わせて移設・保存されることになりました。

平成12年4月、西田橋、高麗橋、玉江橋を移設復元するとともに、五大石橋の歴史や技術を伝える石橋記念館を附設した石橋記念公園が開園しました。公園には、西田橋、高麗橋、玉江橋及び西田橋御門が復元されており、石工「岩永三五郎」の銅像もあります。

- ・1845年(弘化3) 新上橋
- ・1846年(弘化3) 西田橋
- ・1847年(弘化4) 高麗橋
- ・1848年(嘉永元) 武之橋
- ・1849年(嘉永2) 玉江橋 架橋



繁華街にも濁水が流れこんだ(93年)



市内を飲み込んだ 八六大水害

8・6水害

1993(平成5)年は、梅雨明けが特定できなかった異常な年で、相次ぐ集中豪雨や台風等による災害が発生した。特に8月6日は大災害が発生し、鹿児島では「8・6水害」と呼ばれている。「8・6水害」は、鹿児島市及びその周辺部を局地的な集中豪雨が襲い、JR日豊本線の「竜ヶ水駅」や国道10号線では土石流により交通が寸断され、また鹿児島市内では、甲突川、稲荷川、新川の3河川が氾濫した。

- ・日降水量269mm
(17:00~19:00の2時間に109mm)
- ・浸水12,300戸
- ・死者行方不明者49名



写真:南日本新聞社提供



歴史が流された武之橋



家財道具も藻屑の山に



えぐりとられた甲突川



無残な姿になった新上橋



家も車も流された(稲荷町)



壊される高麗橋



甲突川改修工事

新生五橋



薩摩切子細工の欄干は高麗橋 (03年)



妙円寺詣りの行進が渡る西田橋 (02年)



新上橋



昔の姿の標札が飾ってある玉江橋



下から高麗橋、西田橋、平田橋、新上橋が架かる甲突川中流



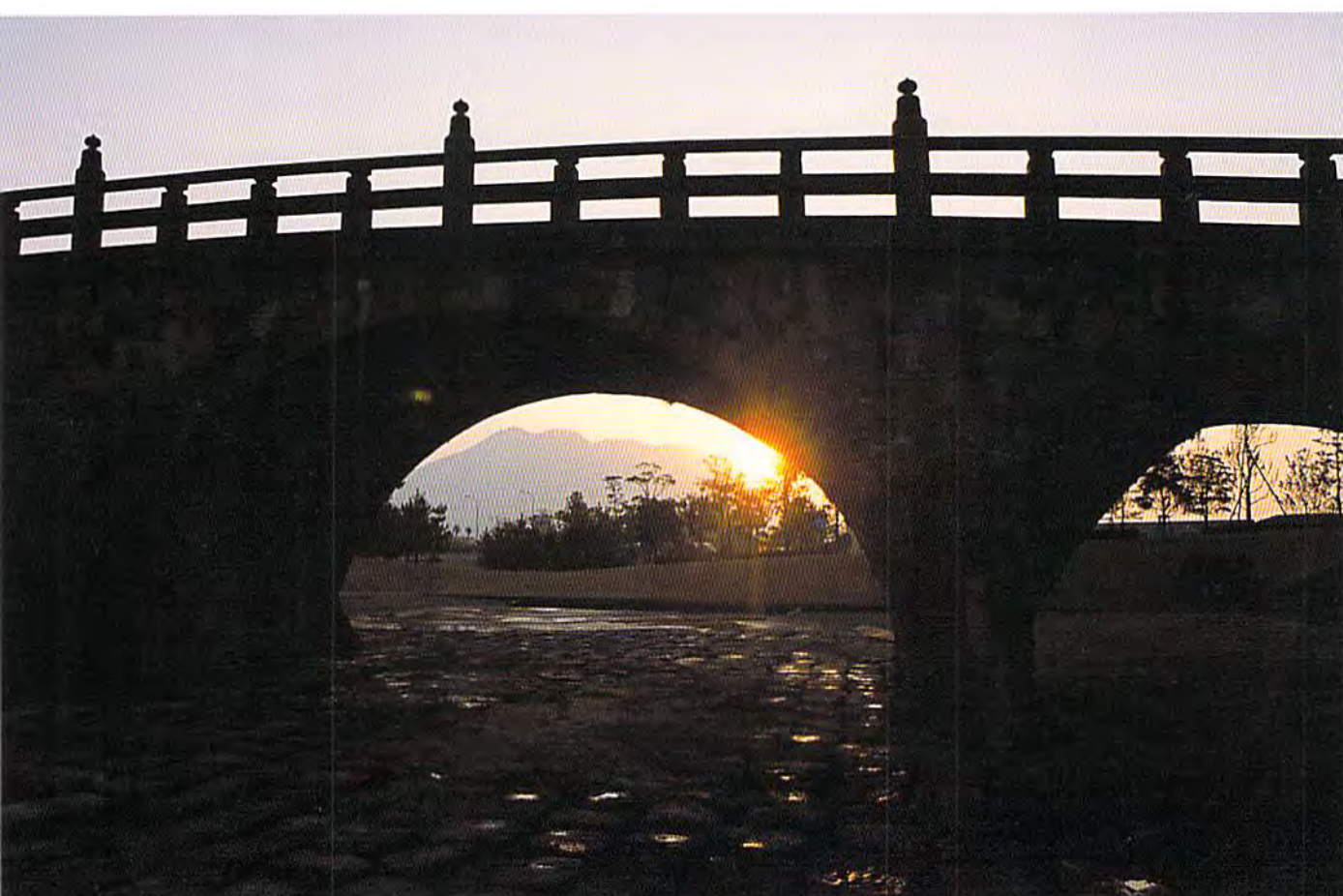
電信柱が無くなった3号線と整備された甲突川



石橋が復元され保存された石橋公園（浜町）

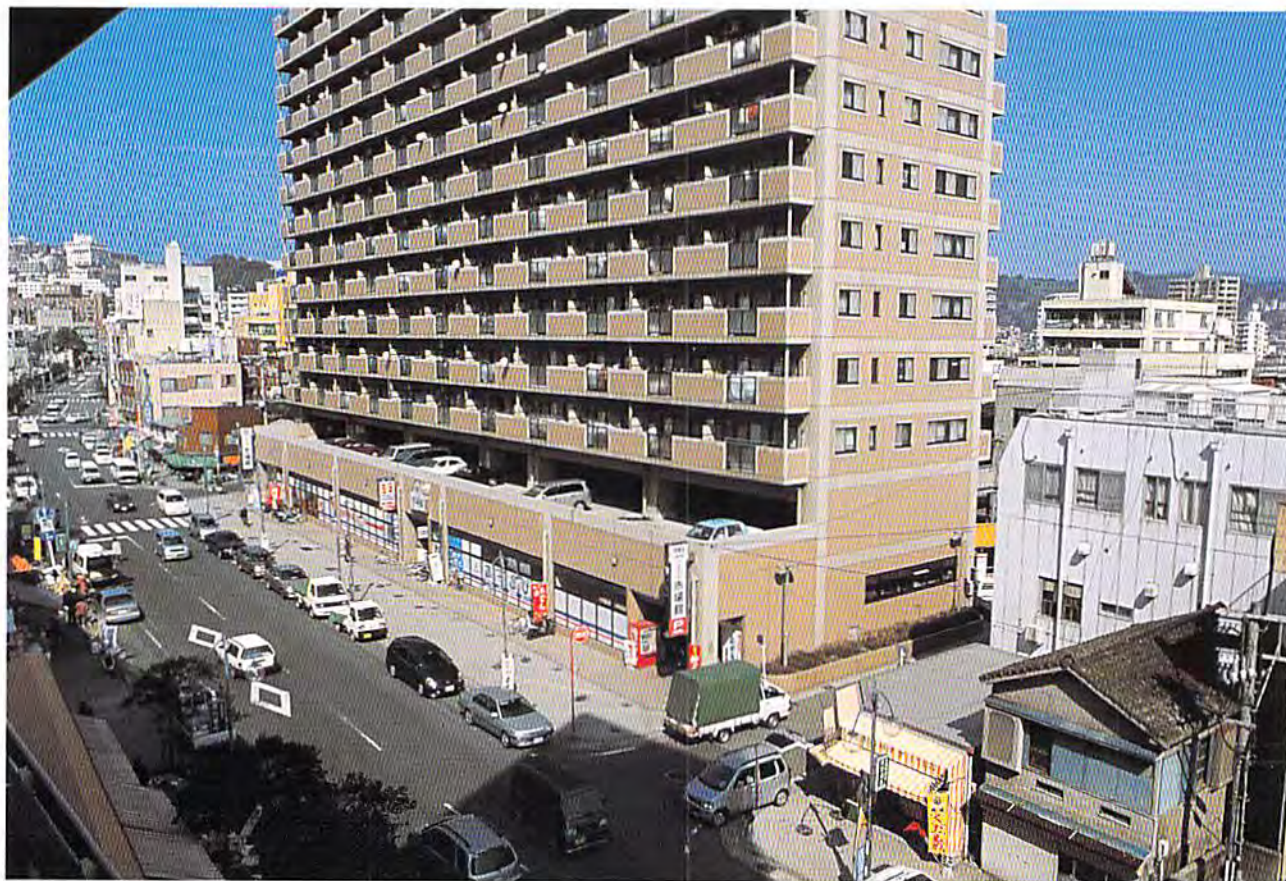


稲荷川を挟んで造られた



夜明けの石橋公園 (03年)

変貌する町並



すっかり姿の変わった小川町 (03年)



小川町 (91年)



暗く雑然とした小川町市場 (91年)



整然とした店内 (03年)



山形屋 (03年)



いづろ周辺 (03年)



山形屋 (92年)



郡元三丁目(92年)



道路が整備された郡元三丁目(03年)



大型会合、スポーツイベントが行われる鹿児島アリーナ (03年)



鶴尾橋から鹿児島刑務所 (86年)



市役所周辺 (02年)



12月にはイルミネーションで飾られる
みなと大通り公園 (02年)



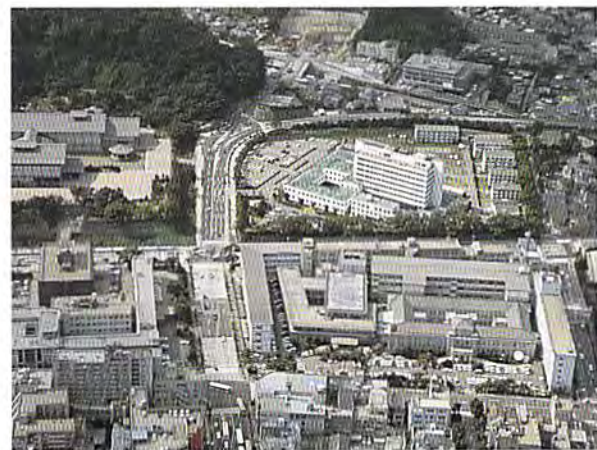
鹿児島市役所 (92年)



県庁跡地に建てられた国際交流センター（03年）



旧県庁正面口（92年）



鹿児島県庁移転 旧県庁（93年）



国際交流センター（03年）



新県庁舎を挟んで議事堂(左)、県警本部(右)



県庁予定地(91年)



県庁予定地のグラウンドでゲートボールを楽しむ人々(91年)



びっしりと家が建ち並ぶ伊敷ニュータウン (03年)



造成されたばかりの伊敷ニュータウン (92年)



国道3号線バイパス工事 (92年)



南九州西回り自動車道 (03年)



移転する鹿児島農業試験場 (03年)



収穫を迎える農場の稲刈り (02年)



区画整備が進む谷山市街地





吉野区画整備工事が始まった(03年)



球技場予定地(中山)



大きな店舗が並ぶ中山一丁目(03年)

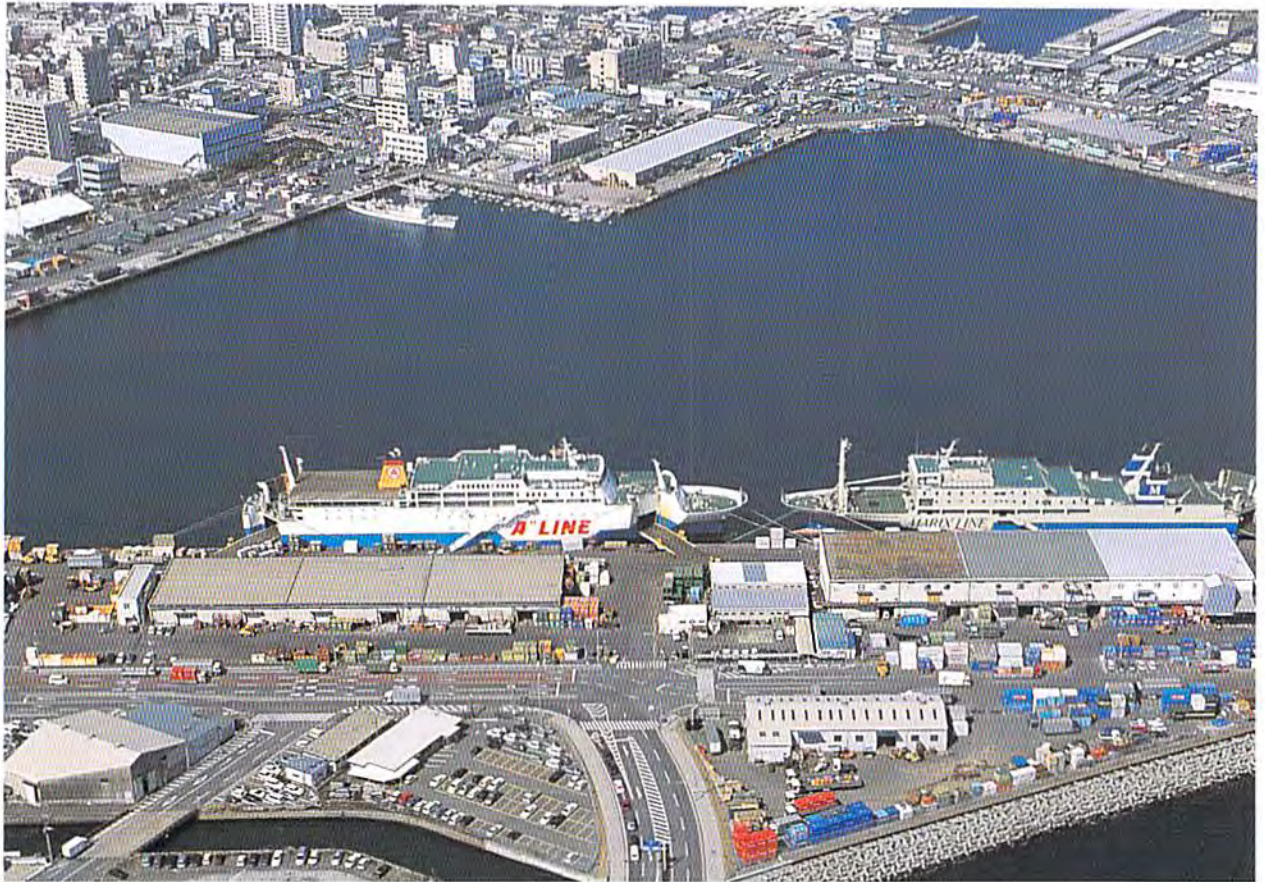


数が少なくなった石造倉庫の裏には高層マンションが建ち並ぶ(03年)

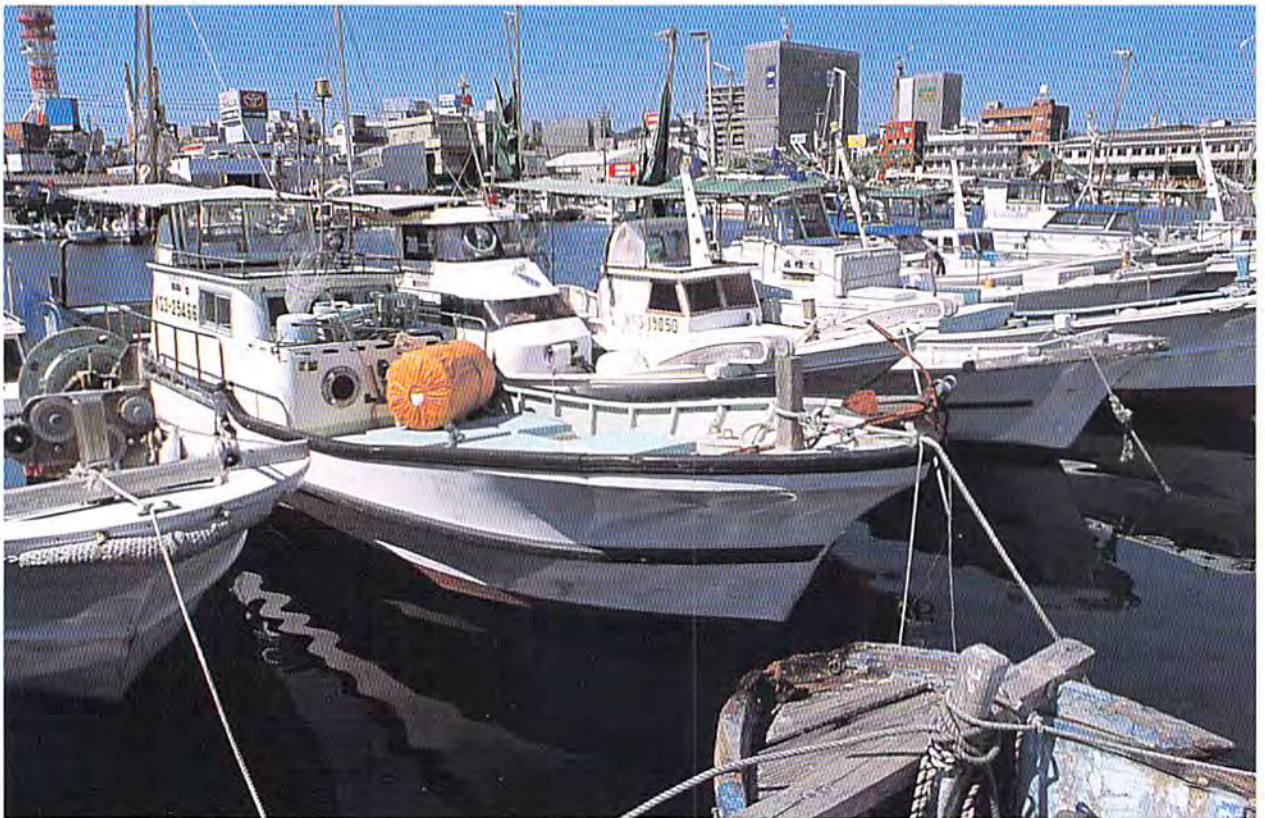


石造倉庫が林立していた海岸道路(92年)

生まれ変わる海岸線



港湾計画で変わる鹿児島本港新港区 (03年)



鹿児島本港船溜まり (03年)



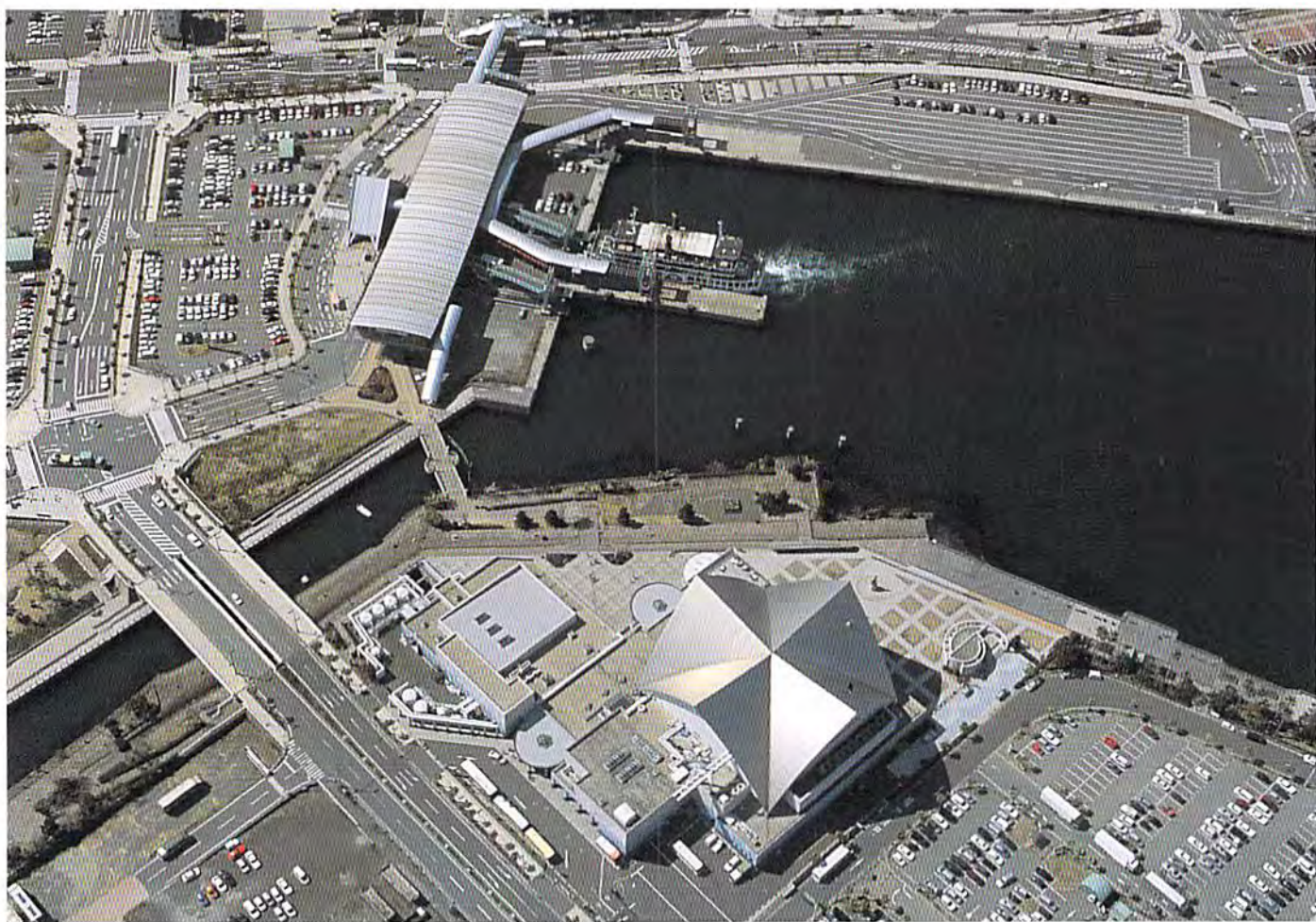
整備された鹿児島本港 (03年)



姿を現した鹿児島本港 (92年)



10年前の桜島棧橋 (92年)



生まれ変わった桜島棧橋 下右はメタリックに光る鹿児島水族館 (03年)



石橋が復元され公園になった稲荷川河口 (03年)



祇園之州公園周辺と稲荷川河口 (92年)



発展の可能性がいっぱいの与次郎 (92年)



車、人といつもにぎわう与次郎一帯 (03年)



シーサイド天保山ブリッジの架かった甲突川河口 (03年)



8・6水害以前の甲突川の姿 (92年)



南日本新聞社も移転してきた与次郎 (03年)



大型企業のビルが進出した県庁東側 (03年)



新しい形の谷山臨海大橋が架かった永田川 (03年)



谷山臨海大橋 (03年)



左に南部汚水処理場、右に中央青果卸市場がある永田川河口 (92年)



水中貯木場 (92年)



東開町の水中貯木場 沖に人工島工事現場



豪華客船が着きヨットハーバーのある南栄六丁目から鹿児島港一区 (03年)



東開町から南栄三丁目に伸びる谷山臨海大橋 (03年)



埋め立て工事の進む人工島 (03年)

変わらないもの 受け継がれるもの



鹿児島三大行事のひとつ「曾我どんの傘焼き」(02年)



春の木市でにぎわう市民広場 (03年)



早朝からせりの声が響く中央卸売魚市場 (02年)



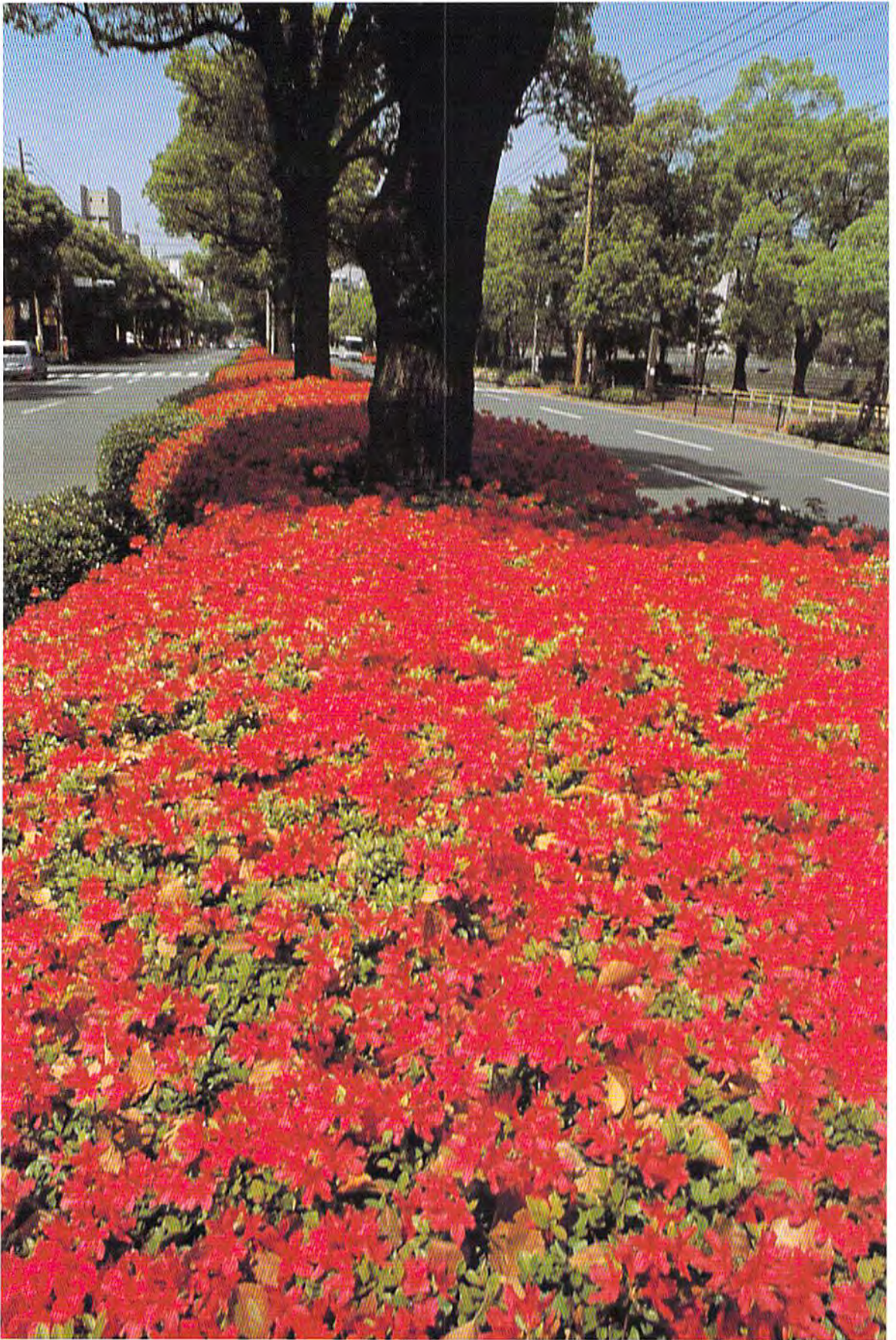
市民の食欲を供給する中央卸売青果市場 (02年)



昔ながらの雰囲気 名山町 (02年)



農家の人達が作った野菜を売る西駅前朝市 (02年)



4月末から5月はグリーンストームが街を飾るナポリ通り (03年)



楠の並木が新緑に輝く大学通り(03年)



観光客を乗せ市内を案内するシティビュー(03年)



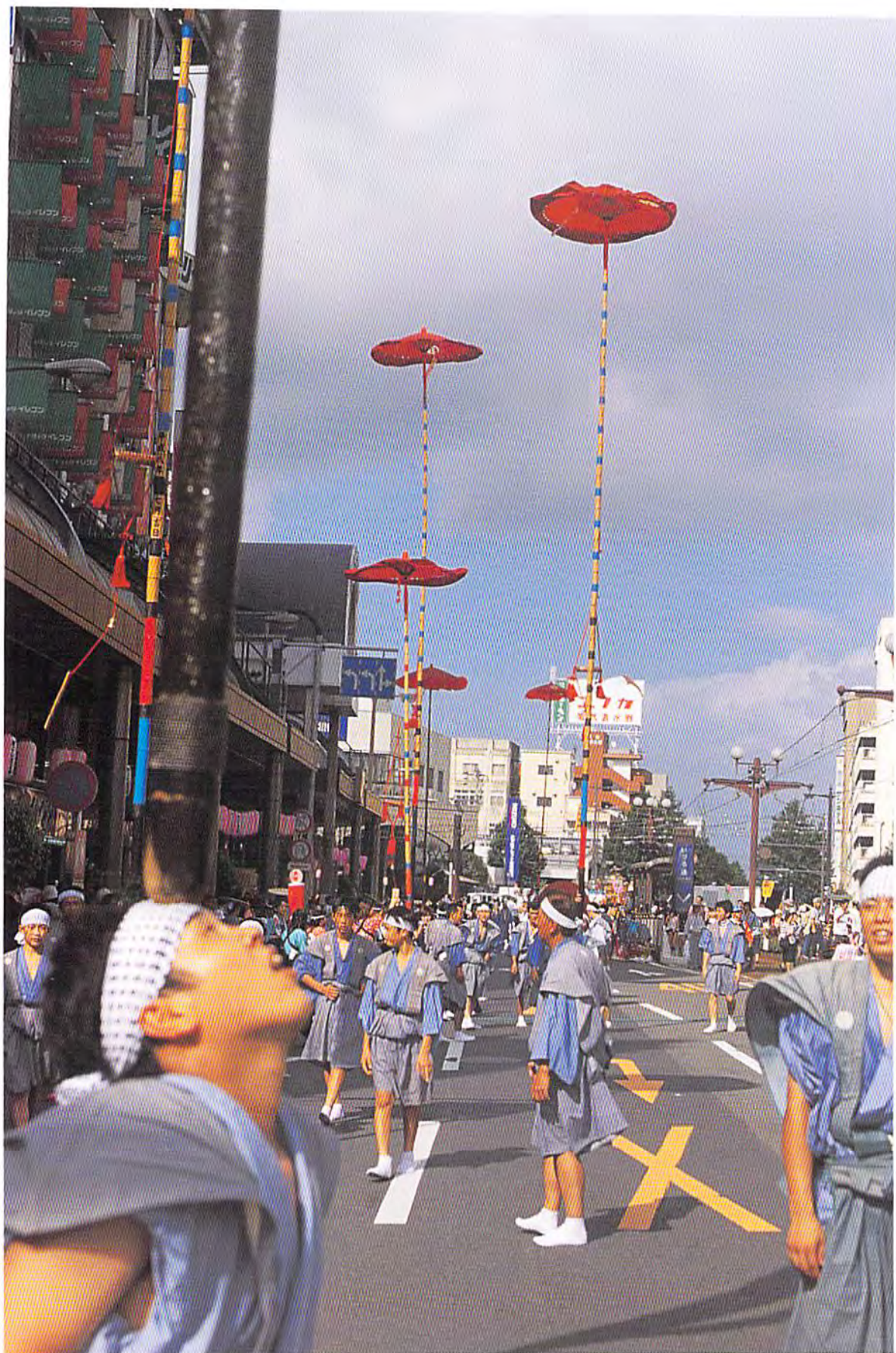
古木の風格も出てきた紫原の桜並木 (03年)



祇園祭の十二戴女 (91年)



十二戴女も時代で若返り (02年)



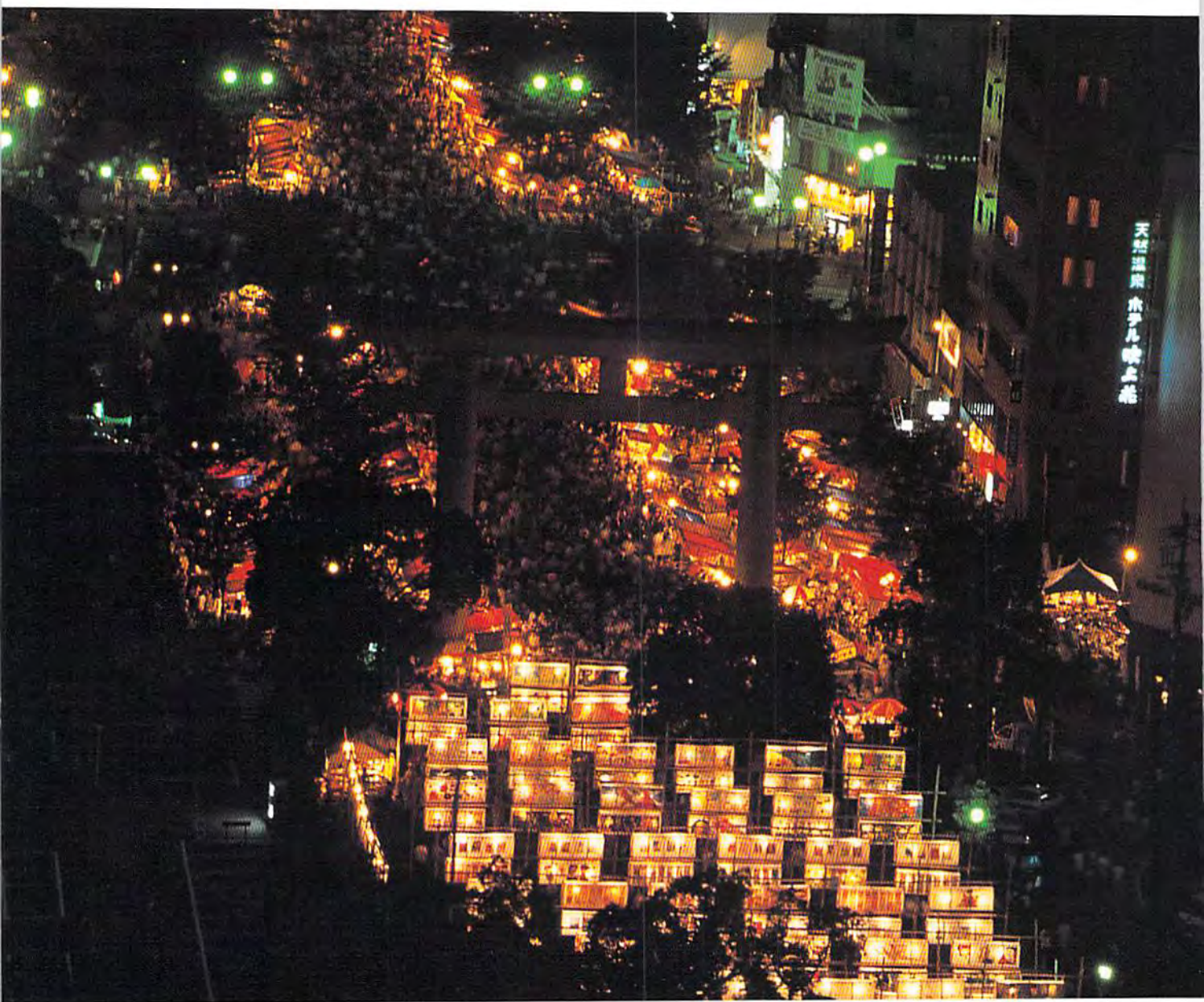
傘立てはおぎおんさあの名物 (02年)



みこしが無くちゃ夏が来ない (92年)



裸に汗しぶきが飛び勇ましいみこし (02年)



夏の宵に灯籠の光が人々を誘う照国神社



六月燈にはしゃぐヨカオゴジョたち(91年)



浴衣も変わった(02年)



おはら祭り (91年)



鹿児島市のイベントおはら祭り (02年)



鮮やかな手付きの踊り子 (02年)



華やかな灯で彩る提灯 (02年)



中央公園の若者達 (02年)



若いママ達も元気です (02年)



照国神社の初詣に集まった市民(03年)



初泳ぎ磯海水浴場(03年)



成人式鹿児島市民文化ホール (03年)



希望に燃える若者たち (03年)



桜の花びらが流れる甲突川 (03年)



鹿児島県の夜空を飾る花火大会 (02年)

TOPICS



花火の競演を楽しみに集まった市民 鹿児島本港広場 (02年)



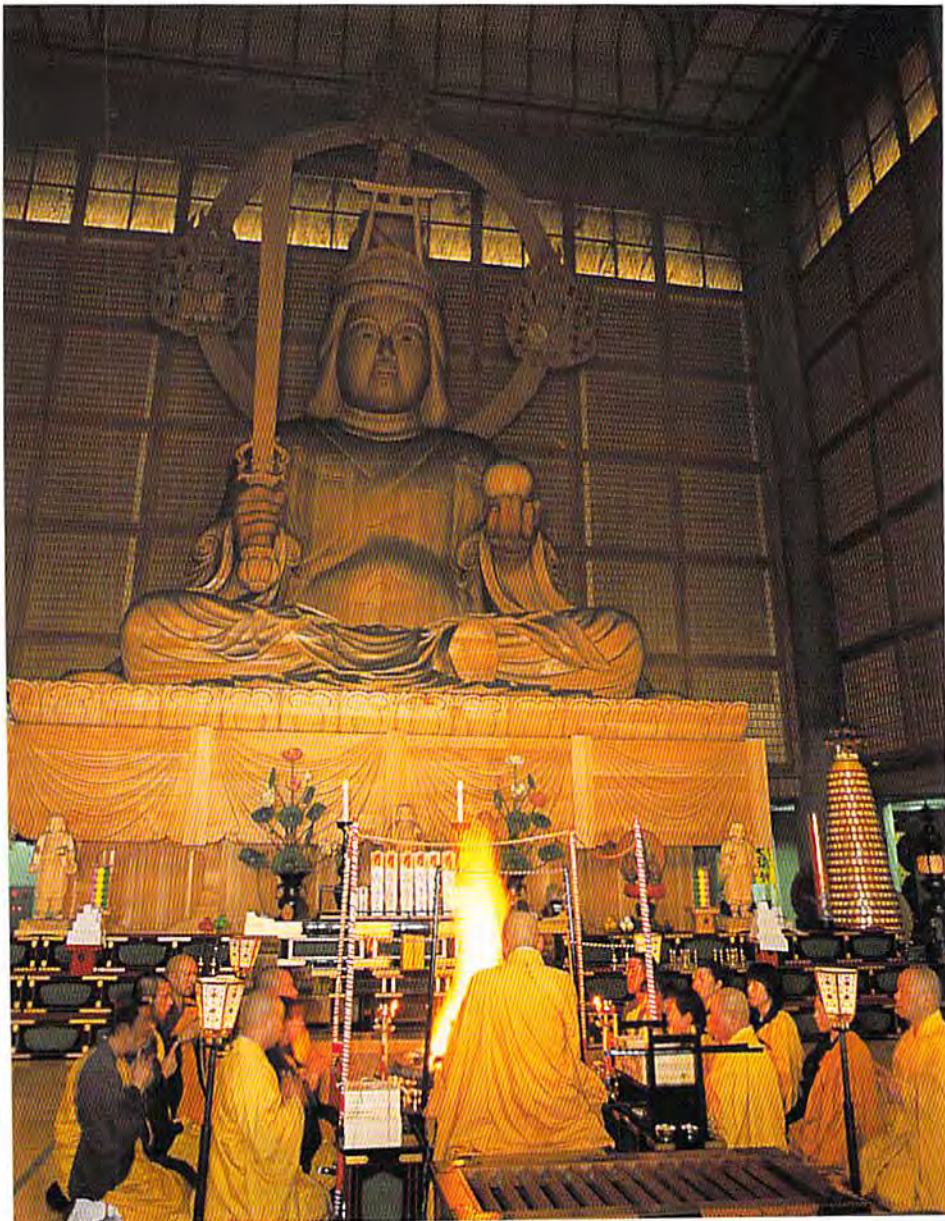
奄美沖で沈没した不審船 鹿児島に揚陸 (03年)



日本一のコアラの飼育数を誇る平川動物公園 (03年)



いまや観光名所の最福寺 (03年)



平成12年建立 世界最大の木造弁財天



長寿世界一の本郷かまとさん (03年)



鹿児島経済大学から鹿児島国際大学と改名 鹿児島短期大学も移転してきた(03年)

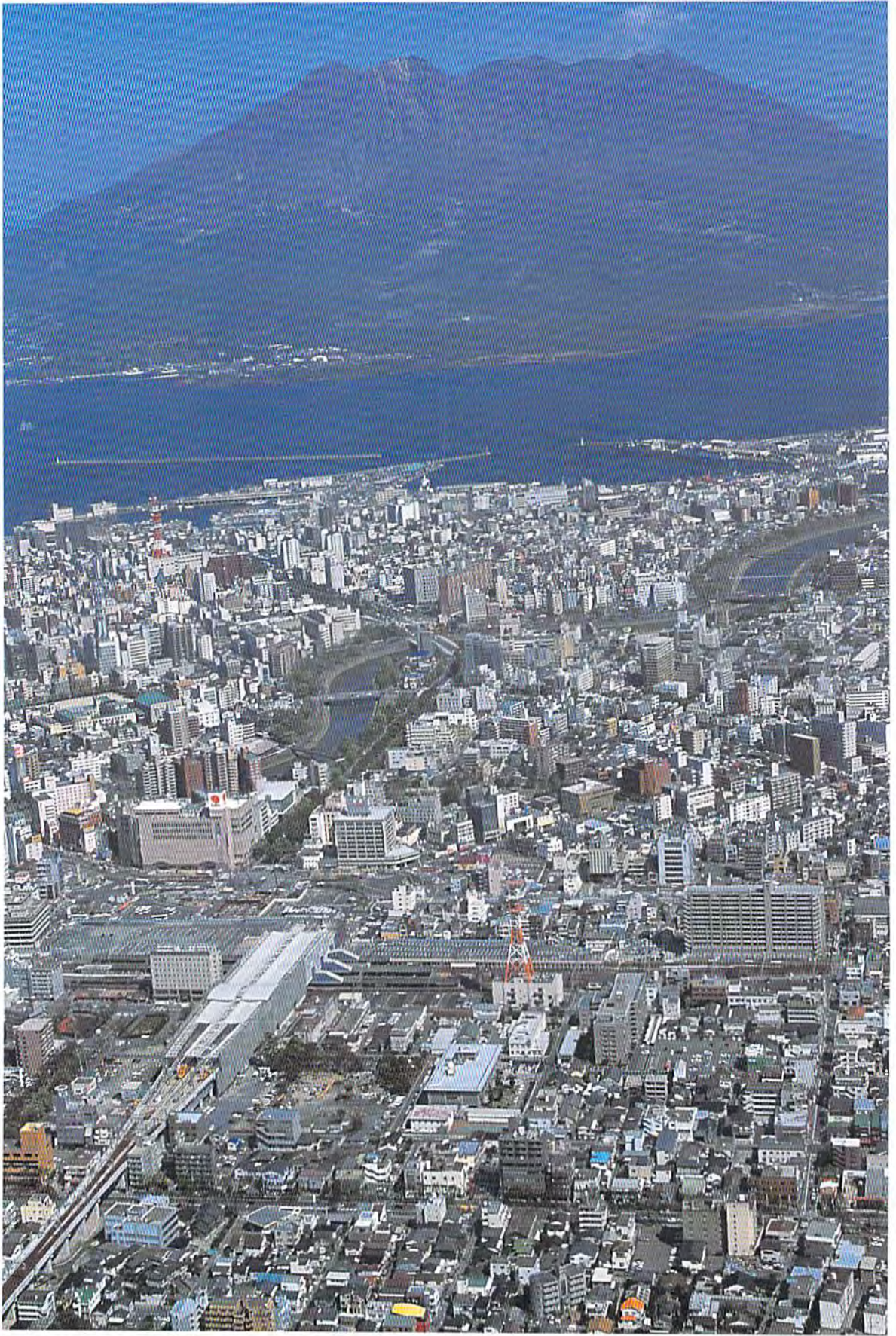


戦後多くの人々に親しまれた厚生市場も近代ビルに建て変わる(03年)

21世紀の大動脈



新幹線の線路の新設工事 (03年)



いよいよ新幹線が鹿児島に伸びてきた (03年)



長年親しまれてきた西鹿児島駅(92年)



懐かしい西鹿児島駅 (92年)



新しい西鹿児島駅 (03年)



西鹿児島駅周辺 (03年)



九州新幹線 新八代ー鹿児島中央駅間の営業開始を控え
試運転を始めた超特急「つばめ」



県外からの観光客を迎える新しい鹿兒島のシンボル鹿兒島中央駅 (03年)

撮影者紹介

星原昌一（昭和8年10月生 日本写真作家協会会員）

自分で自分の紹介をするほど、照れ臭いものはない。しかも人に語るほどもなく、人生の大半を過ごしてきただけになにを語れば良いのだろうと考える。ただうかうかとしていたら、年月は流れ振り返れるほど自慢ができないことが悔やまれる。

戦後の混乱時期が少し終末をむかえるころ、南日本新聞社の写真部に採用された。まだ赤線が賑やかな時代で、赤提灯で飲む焼酎が30円のころ。昭和28年である。おかげさまで人以上に、時代の変遷を直に見せてもらったようである。

潜水写真に魅力を感じたのは、38年。磯海岸の透明な海で、水中眼鏡で大きな魚の群れが泳ぐ姿を見付けたときからだ。それから夢中に奄美の大島海峽、与論の海と潜り、素晴らしく美しさに引き込まれていった。

野鳥の撮影も、モノクロでの連載、カラーでの企画。いまみたいに人々は興味をみせなく、撮影する人も少ないころだった。野の花も追いかけて県内を巡った。県内の民俗行事を追いかけたのもこのころから。

自然環境が破壊されていくのを、目前にして環境をまもることの大切さを知る。

世界で初めての「山下五つ子」の担当、世界一の長寿者泉重千代さん、先日亡くなった本郷かまとさん（これは今回の取材で）と会い生命の尊さを覚えた。数知れずの事件の取材にも遭遇したが、いまや夢幻の世界である。

このようなわたしに、目まぐるしく変わる「かごしまの町」の取材を10年おきにさせていただいた西ロータリーの方々に感謝しています。ありがとうございました。

鹿児島西ロータリークラブ 創立40周年記念事業実行委員会組織図

委員長 水流 洋
副委員長 片平 可也

実行委員長 太原 春雄
実行副委員長 村田 和雄

総務委員会	
委員長	村田 和雄
副委員長	須田 正己
副委員長	岩切 豊
会計	佐伯 壽郎

登録委員会		
委員長	庵木 英雄	
副委員長	山田 晴彬	
委員	池田 干明	出席
	濱崎 一郎	出席
	野添 良隆	出席
	有馬 戦男	出席
	藤川 毅	職業奉仕
	徳留 忠敬	職業奉仕
	櫻美 義明	職業奉仕
	長柄 英男	財団
	福元 紳一	財団
	竹下 洋	職業分類
	坂木 貞剛	職業分類
	高井 敏治	職業分類
	坂本 明雄	職業分類
	玉利 賢介	国際奉仕
	川畑 宏二	国際奉仕
	三角 桂次郎	国際奉仕
	濱田 悦郎	国際奉仕

歓迎委員会		
委員長	古木 圭介	
副委員長	染川 周郎	
委員	天本 美信	親睦
	西川 明寛	親睦
	岩元 基	親睦
	森永 茂樹	親睦
	松田 忠臣	親睦
	櫻田 浩典	親睦
	江口 清隆	親睦
	山下 健	親睦
	福田 一郎	親睦
	中嶋 健	親睦
	池田 勝一郎	親睦
	小田代 憲一	親睦
	山本 広明	親睦
	岩男 秀彦	プログラム
	小園 正人	米山
	山下 皓三	米山
	有馬 戦男	出席
	徳留 忠敬	職業奉仕
	坂木 貞剛	職業分類
	前田 樹一郎	会員選考
	岩田 泰一	会員増強
	竹下 威	会員増強
	玉川 哲生	会報・雑誌
	海江田 卓	会報・雑誌

運営委員会		
委員長	深尾 兼好	
副委員長	若松 喜八郎	
副委員長	板木 泰文	
副委員長	原 正親	
委員	有村 仁志	SAA
	内村 二郎	SAA
	小園 啓一	SAA
	町田 猛	プログラム
	諏訪園 隆	プログラム
	岩男 秀彦	プログラム
	川平 建次郎	プログラム
	高山 義則	社会奉仕
	池田 耕治	社会奉仕
	中村 一雄	社会奉仕
	銚之原 大助	社会奉仕
	中村 英幸	会員選考
	池口 恵観	会員選考
	前田 樹一郎	会員選考
	鮫島 信一	会員増強
	加藤 一徳	会員増強
	小山 幸義	会員増強
	岩田 泰一	会員増強
	竹下 威	会員増強
	上原 満	ボランティア
	日高 好久	ローターアクト
	大迫 剛	ローターアクト
	田中 寛吉	ローターアクト
	田畑 勇	ローターアクト
	大山 康成	インターアクト
	藤安 秀一	インターアクト
	福田 正臣	インターアクト
	宮村 敏郎	インターアクト

記念誌委員会		
委員長	天本 美信	
副委員長	深尾 兼好	
委員	桐明 桂一郎	広報
	原 正親	広報
	江夏 洋	広報
	山本 正明	広報
	庵木 英雄	会報・雑誌
	松田 健一	会報・雑誌
	水淵 清治	会報・雑誌
	玉川 哲生	会報・雑誌
	海江田 卓	会報・雑誌
	正 建二郎	ロータリー情報
	中園 雅治	ロータリー情報
	南 徹	ロータリー情報
	森 俊英	ロータリー情報
	樋渡 良一	新世代
	角園 征治	新世代
	佐藤 雅春	新世代

*新人会員は所属委員会別に

会員名簿



鮫島 志芽太



福田 敏之



池田 廣



平岡 慎吉



有馬 戦男



天本 美信



庵木 英雄



有村 仁志



阿部 哲郎



榎田 浩典



江口 清隆



福田 正臣



福田 一郎



深尾 兼好



藤安 秀一



藤川 毅



福元 紳一



樋渡 良一



鉦之原 大助



日高 好久



濱田 悦郎



濱崎 一郎



原 正親



岩元 基



池口 恵観



岩男 秀彦



岩田 泰一



板木 泰文



池田 勝一郎



岩切 豊



池田 千明



池田 耕治



小山 幸義



小園 正人



古木 圭介



江夏 洋



海江田 卓



川平 建次郎



片平 可也



加藤 一徳



桐明 桂一郎



川畑 宏二



小園 啓一



小林 勉



久保 眞介



三角 桂次郎



水濁 清治



村田 和雄



森永 茂樹

会員名簿



前田 樹一郎



松田 忠臣



正 建二郎



松田 健一



南 徹



町田 猛



森 俊英



宮村 敏郎



中村 一雄



野添 良隆



長柄 英男



中村 英幸



中島 健



中園 雅治



西川 明寛



小田代 憲一



大山 康成



大迫 剛



佐伯 壽郎



須田 正己



坂元 明雄



染川 周郎



坂木 貞剛



諏訪園 隆



櫻美 義明



鮫島 信一



佐藤 雅春



角園 征治



志岐 峰雄



高井 敏治



太原 春雄



玉川 哲生



水流 洋



田中 寛吉



竹下 威



高山 義則



竹下 洋



玉利 賢介



徳留 忠敬



田畑 勇



玉利 清美



上原 満



内村 二郎



若松 喜八郎



山下 皓三



山元 正明



山田 晴彬



山下 健

編集後記

謹んで鹿児島西ロータリークラブ創立40周年記念誌をお届け致します。太原春雄40周年記念事業実行委員長の統括のもと、クラブ会員全員の一致協力で、平成15年3月に記念式典が盛大に催され、2730地区はもとより、県外、国外からも多勢の皆様のご出席を賜り祝福していただきました。記録として、頂戴いたしましたご祝辞、記録写真、鹿児島西ロータリークラブのこれまでの歩みとともに、写真集「変わるもの 変わらぬもの」を掲載いたしました。

40周年記念誌の編集を命じられてはや1年。10年前、30周年の記念事業として発行された写真集「鹿児島見たまま」が、鹿児島市を根底から破壊しつくした八六水害の直前に撮影された貴重な記録として評価されていた事から、この事業の継承が審議されました。被災後の廃墟の中で、誰もが不安を抱いた街並の復興が、予想を上回るたくましさで成し遂げられたのは鹿児島市民の多くが承知している事です。

ただ、記憶は歳月の流れの中で薄れ、消滅します。わずか10年の間で、「失われたもの」「生まれたもの」「変わったもの」「変わらないもの」が混然とする今、記念誌の編纂にあたり、その記録を残しておくことの意義を大切にしました。元南日本新聞写真部長の星原昌一様には、一年に渡って10年前と同・アングルでの街並や催事の撮影をお願いし、直近10年間の会長、幹事諸兄には生の対談で思い出を語っていただきました。あれこれ欲ばりすぎたため、発刊が遅れましたことをおわび申し上げます。また快く原稿をお寄せくださいました皆様はじめご協力を賜りました多くの方々、無理難題の雑務を押しつけました事務局の向井さん、丸峯さんにも心より感謝申し上げます。

40周年記念誌委員会

委員長 天本 美信

副委員長 深尾 兼好

平成 15 年 12 月印刷

平成 15 年 12 月発行

創 立 4 0 周 年 記 念 誌

発行者 鹿児島西ロータリークラブ
鹿児島市金生町3-1 山形屋内

編 集・デザイン 株式会社シイツウ

印 刷 アジア印刷株式会社